
令和5年度
高知県困難な問題を抱える
女性への支援に関するニーズ調査

報告書

令和5年8月
高知県

－目次－

第1章 調査の概要.....	1
第2章 調査結果（高校生）.....	3
第3章 調査結果（大学生）.....	13
第4章 調査結果（一般県民）.....	21
資料 調査票.....	41

第1章 調査の概要

1. 調査目的

女性をめぐる課題は生活困窮、性暴力・性犯罪被害、家庭関係破綻など複雑化、多様化、複合化している。コロナ禍によりこうした課題が顕在化し、「孤独・孤立対策」といった視点も含め、新たな女性支援強化が喫緊の課題となっており、本県においても、困難な問題を抱える女性への支援体制の構築を着実に進めるため、学生や県内在住の女性に対し、悩みを抱えた経験や、支援に関するニーズについての調査を実施して、こうした女性に関する状況を把握した。

※なお、障害を持つ方など、この調査への回答が困難なケースについては、別途、関係機関への聞き取りにより、状況把握を行うこととする。

2. 調査設計

(1) 調査対象者

- ①県内高等学校の女子生徒
- ②県内大学の女子学生
- ③高知県に在住している20歳以上の女性

(2) 有効回答数

調査種別	調査対象者	有効回答数
①高校生	A校	23票
	B校	410票
	C校	238票
	D校	133票
	合計	804票
②大学生	A校	56票
③一般県民		1,000票

(3) 調査方法

- ①高校生：紙面による調査（調査票を郵送）
- ②大学生：WEB上のアンケートフォームによるアンケート調査
- ③一般県民：インターネットを活用したアンケート調査

(4) 調査期間

令和5年7月10日 ～ 令和5年7月31日

(5) 調査機関

株式会社サーベイリサーチセンター四国事務所

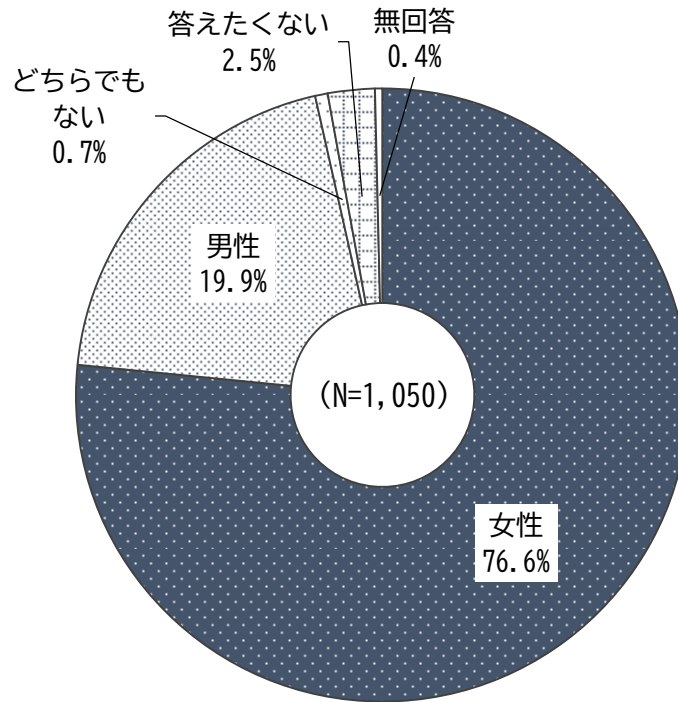
3. 報告書の見方

- (1) 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の表においても反映しています。
- (2) 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- (3) 大学生の調査結果はサンプル数が少ないため、参考値として掲載しています。

第2章 調査結果（高校生）

問1 あなたの性別を教えてください。(○はひとつだけ)

性別についてたずねると、「女性」(76.6%)、「男性」(19.9%)、「答えたくない」(2.5%)、「どちらでもない」(0.7%)となっています。



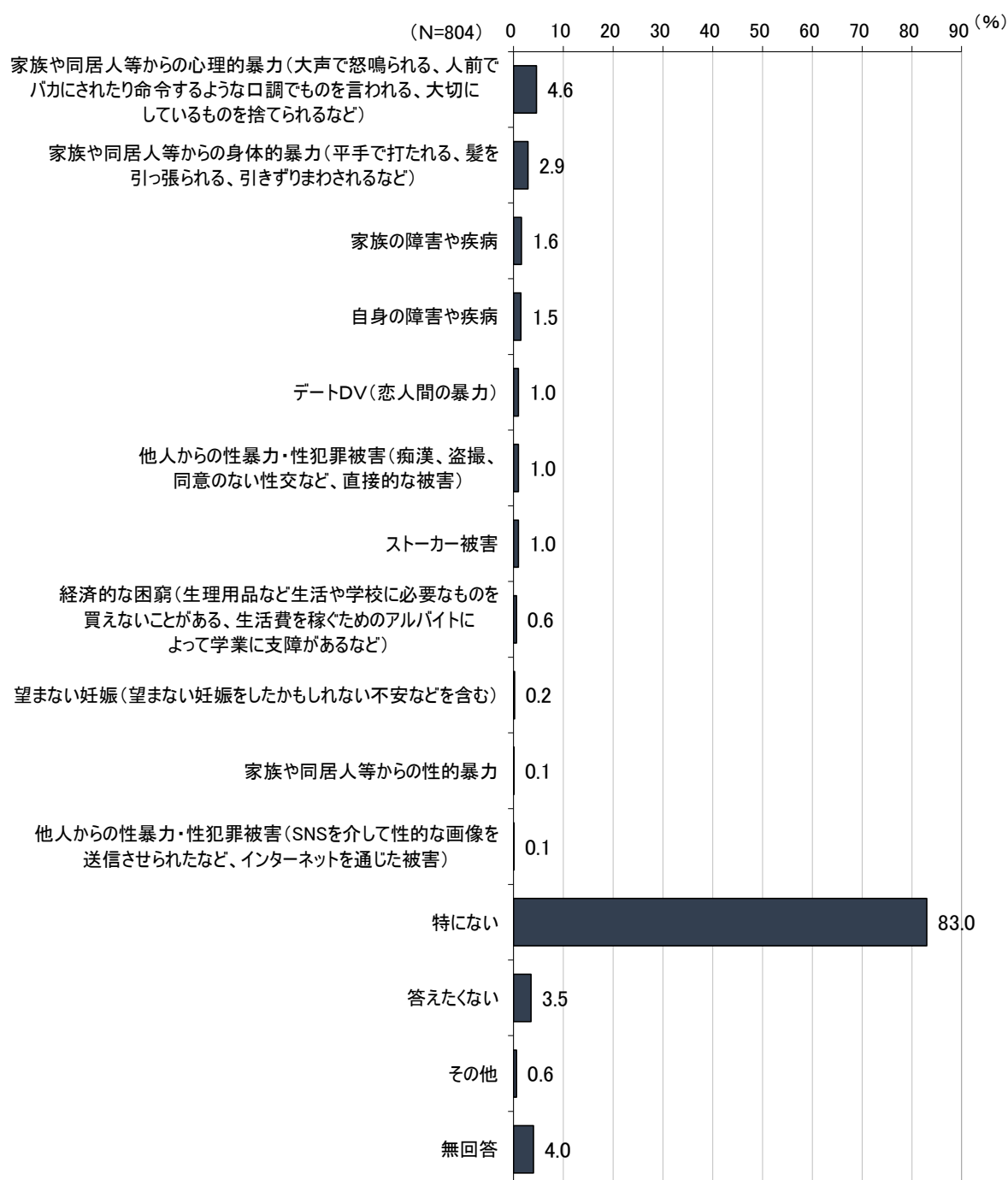
※基本的に女性を対象とした調査であるが、一部の学校において性別を限定せず調査を行った。
(男性等の調査結果については、別途、参考としている。)

問2以降のすべての設問については「女性」と回答した方のみで集計した。

問2 あなたがこれまでに抱えたことのある悩みはありますか。(〇はいくつでも)

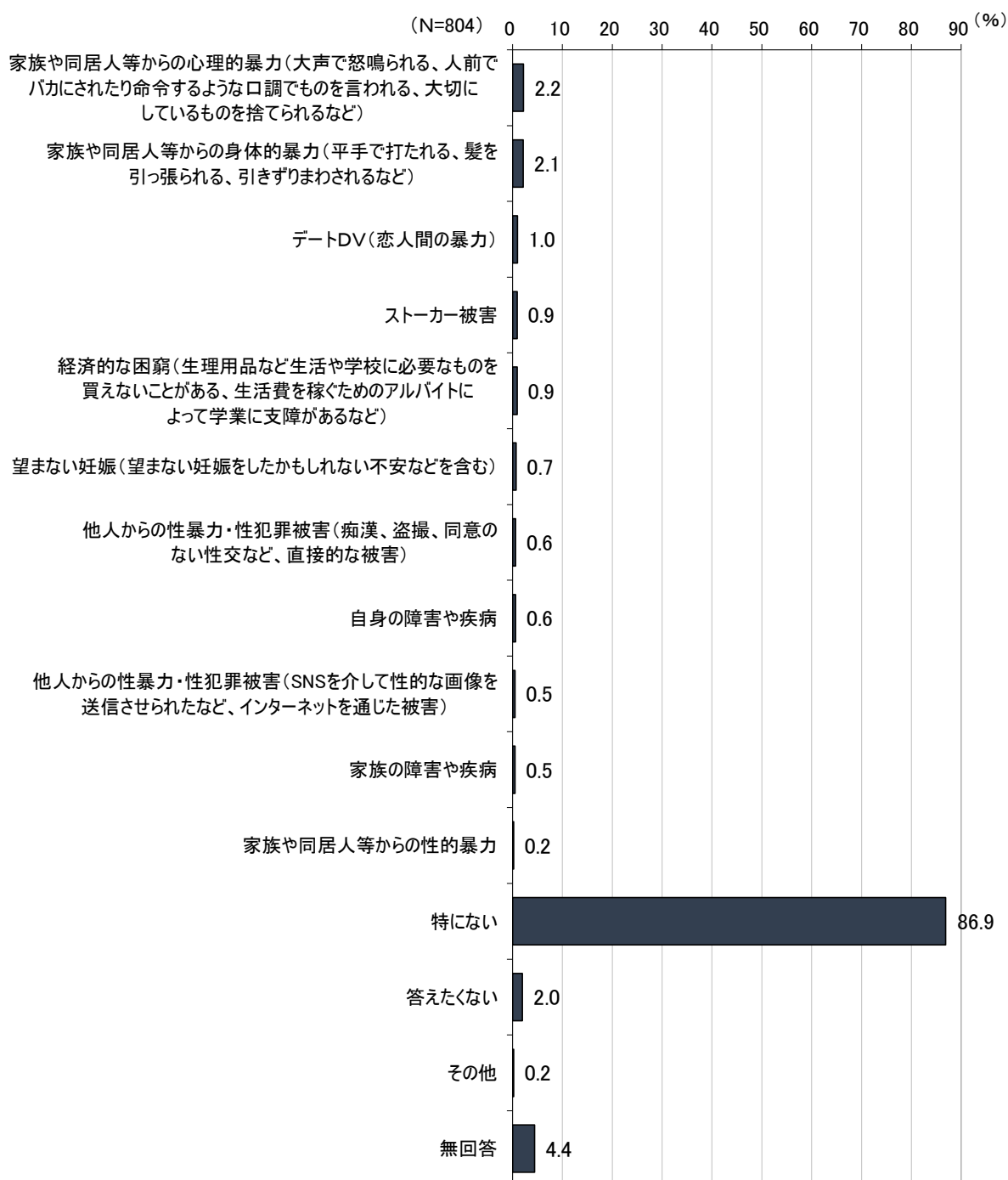
これまでに抱えたことのある悩みについてたずねると、「家族や同居人等からの心理的暴力」(4.6%)が最も多く、次いで「家族や同居人等からの身体的暴力」(2.9%)、「家族の障害や疾病」(1.6%)、「自身の障害や疾病」(1.5%)となっています。幅広い悩みについての回答がある一方で、「特にない」(83.0%)も8割以上を占めています。

また、「その他」と回答した方の中には、「自分自身の性自認と性的指向について」、「兄弟から理不尽に怒られる」、「情緒不安定」などの意見があがっています。



問3 同世代の知人や友人が抱えている悩みとして、見たり聞いたり相談されたりしたことがあるものはありますか。(〇はいくつでも)

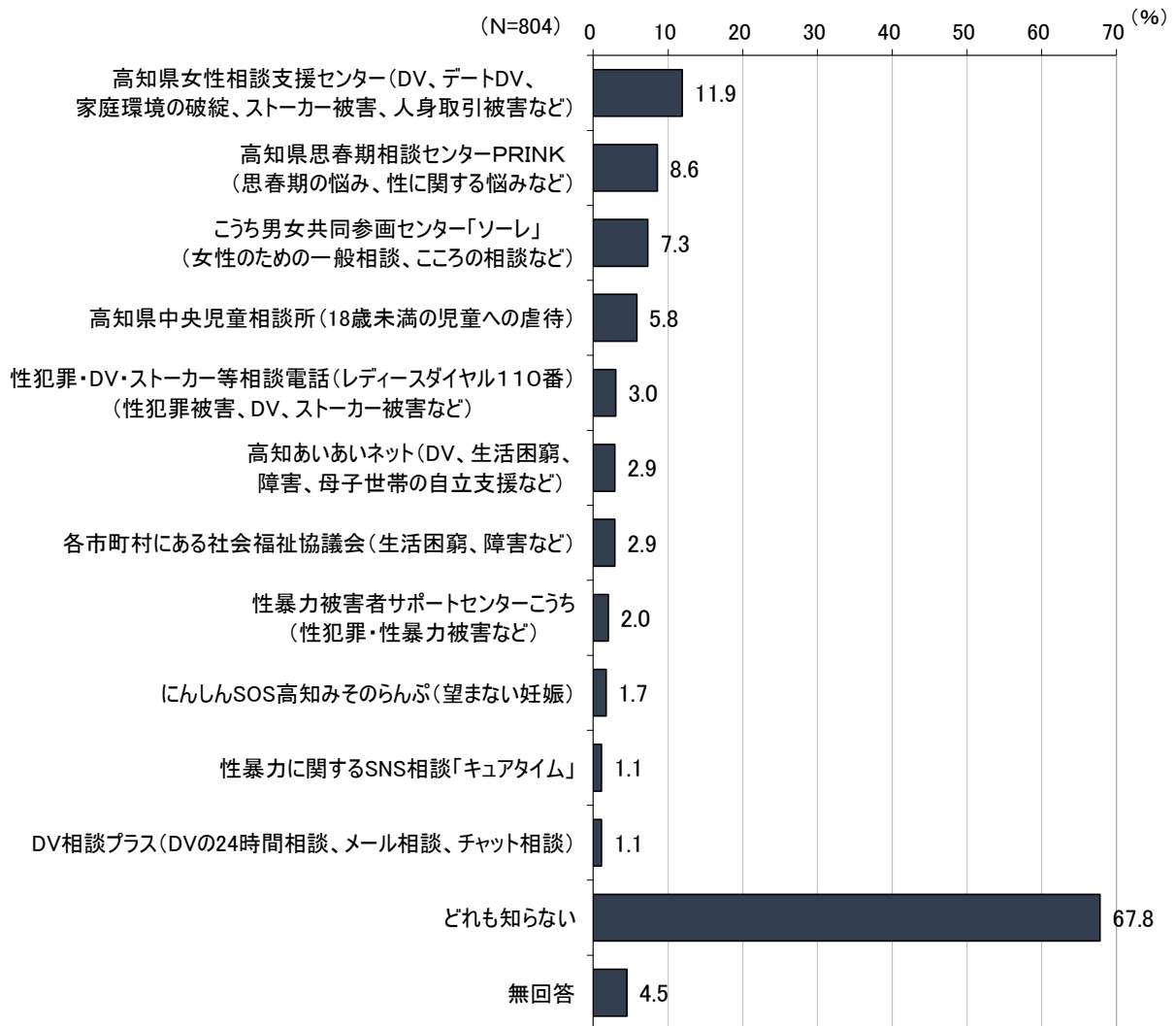
同世代の知人や友人が抱えている悩みとして、見たり聞いたり相談されたりしたことについてたずねると、「家族や同居人等からの心理的暴力」(2.2%)が最も多く、次いで「家族や同居人等からの身体的暴力」(2.1%)、「デートDV」(1.0%)、「ストーカー被害」(0.9%)となっています。



問4 以下の相談機関（支援機関）のうち、どのような相談を受け付けているか知っているものはありますか。（〇はいくつでも）

相談機関（支援機関）のうち、どのような相談を受け付けているか知っているものについてたずねると、「高知県女性相談支援センター」(11.9%)が最も多く、次いで「高知県思春期相談センターPRINK」(8.6%)、「こうち男女共同参画センター「ソーレ」」(7.3%)、「高知県中央児童相談所」(5.8%)となっています。

一方で、「どれも知らない」(67.8%)が7割を占めています。

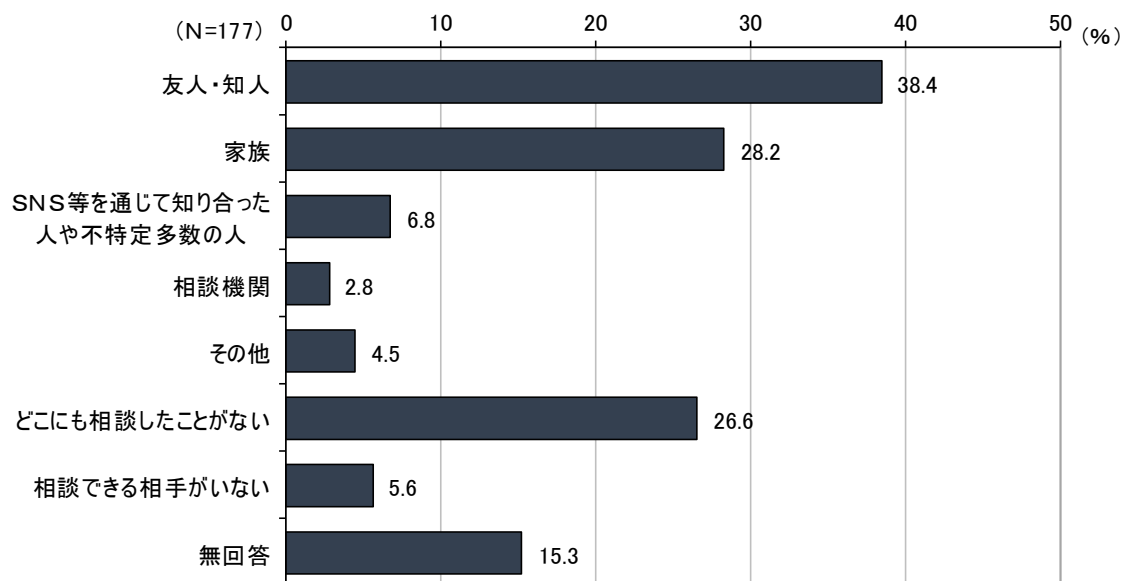


問5 あなたや周りの人が抱える悩みについて、誰に（どこに）相談しましたか。（〇はいくつでも）

※問2・3でいずれも「特にない」を選択した以外の方を抽出し、集計しました。

自身や周りの人が抱える悩みの相談先についてたずねると、「友人・知人」(38.4%)が最も多く、次いで「家族」(28.2%)、「SNS等を通じて知り合った人や不特定多数の人」(6.8%)となっています。

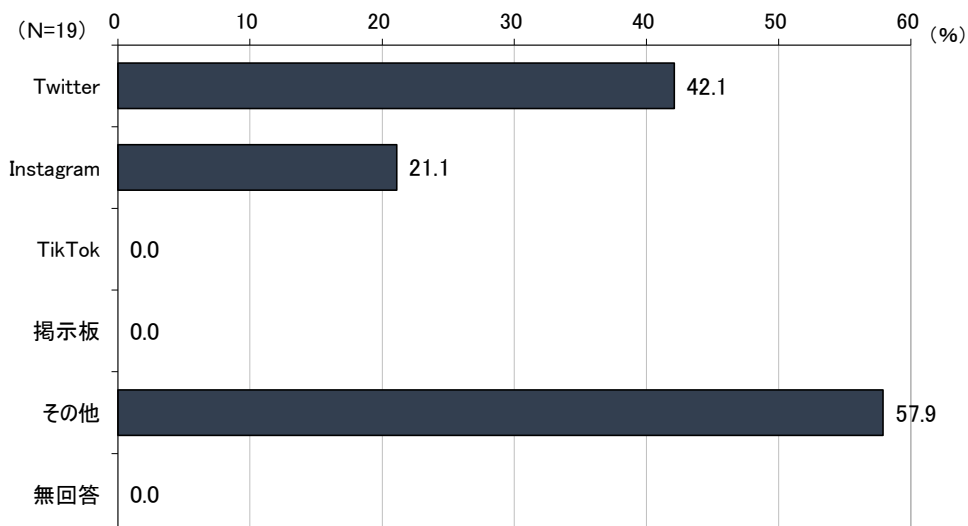
一方で、「どこにも相談したことがない」(26.6%)も約3割を占めています。また、「その他」と回答した方の中には「学校の先生」、「病院の先生」などの意見があがっています。



副問1 相談に利用したSNS等は何ですか。（〇はいくつでも）

相談に利用したSNS等についてたずねると、「Twitter」(42.1%)が最も多く、次いで「Instagram」(21.1%)となっています。

一方で、「その他」(57.9%)も半数以上を占めています。また、「その他」と回答した方の中には「LINE（オープンチャットなど）」、「ゲーム内のチャット」などの意見があがっています。



<第2章 調査結果(高校生)>

副問2 相談した機関はどこですか。(〇はいくつでも)

相談した機関についてたずねると、「高知県中央児童相談所」(20.0%)となっており、「左記以外」(80.0%)が8割を占めています。

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	無回答
【表の見方】 比率(%)	全体	高知県女性相談支援センター(DV、デートDV、家庭環境の破壊、ストーカー被害、人身取引被害など)	高知県男女共同参画センター「ソレレ」(女性のための一般相談、こころの相談など)	高知県思春期相談センターPRINK(思春期の悩み、性に関する悩みなど)	性暴力被害者サポートセンター(性犯罪・性暴力被害など)	性犯罪・DV・ストーカー等相談電話(レディースタイル110番)(性犯罪被害、DV、ストーカー被害など)	性暴力に関するSNS相談「キュアタイム」	高知あいあいネット(DV、生活困窮、障害、母子世帯の自立支援など)	高知県中央児童相談所(18歳未満の児童への虐待)	にんしんSOS高知みそのらんが(望まない妊娠)	DV相談プラス(DVの24時間相談、メール相談、チャット相談)	各市町村にある社会福祉協議会(生活困窮等)	市町村役場	警察(性犯罪被害相談電話を含む)	左記以外	
全体	5	-	-	-	-	-	-	-	20.0	-	-	-	-	-	80.0	-

副問3 相談した結果、どう感じましたか。(〇はひとつだけ)

相談した結果の満足度についてたずねると、「満足できる対応だった」と「まあまあ満足できる対応だった」を合わせた【満足】と回答した方の割合がSNSでは88.9%と多くなっています。

	全体	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)+(2)	(4)+(5)
【表の見方】 比率(%)		対満足 応足 だ つ き る	で ま あ ま あ 満 足 だ つ た	ど ち ら で も な い	で や な か つ た	不 満	満 足	不 満
SNS	9	44.4	44.4	0.0	0.0	11.1	88.9	11.1
上記以外	4	0.0	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0	75.0

相談した結果、どう感じたか具体的な内容について

満足と感じた意見

- ・解決法を考えてくれた。優しくしてくれて気持ち楽になった。(SNS)
- ・すっきりした。(SNS)
- ・優しい(SNS)
- ・悩みをもっているのが嫌になったから。(SNS)

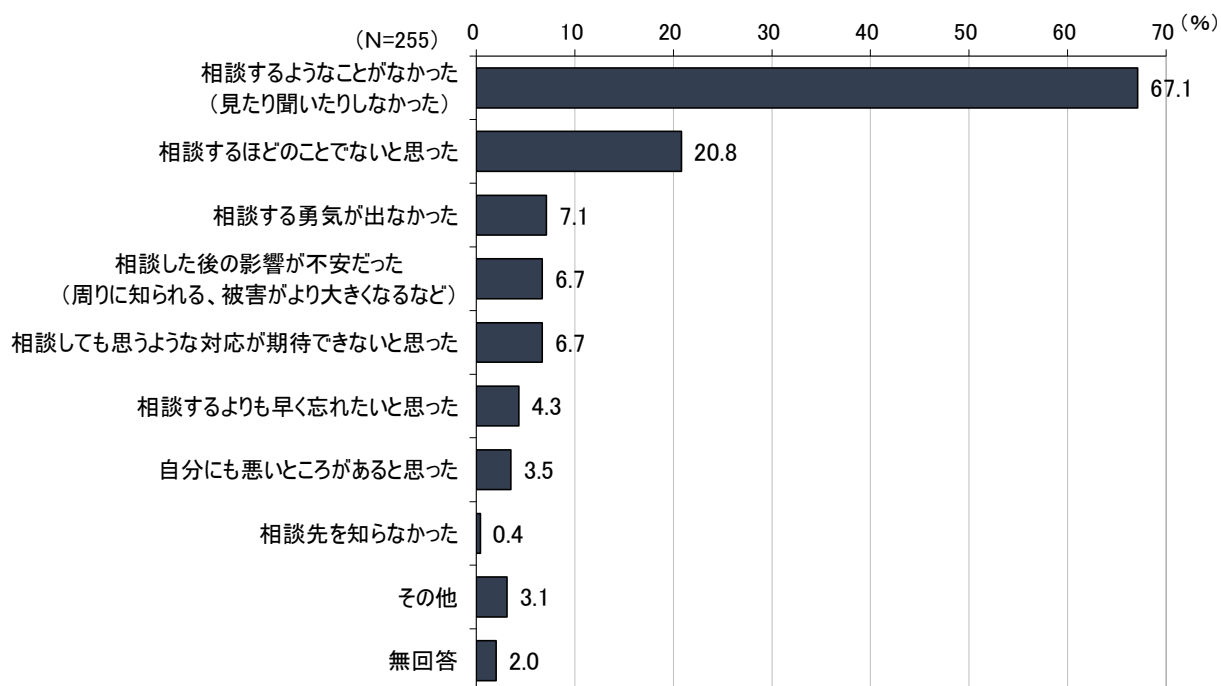
不満と感じた意見

- ・こちらの内情をさぐろうとしている気がする話し方が怖かった。(上記以外)

副問4 相談しなかった、できなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

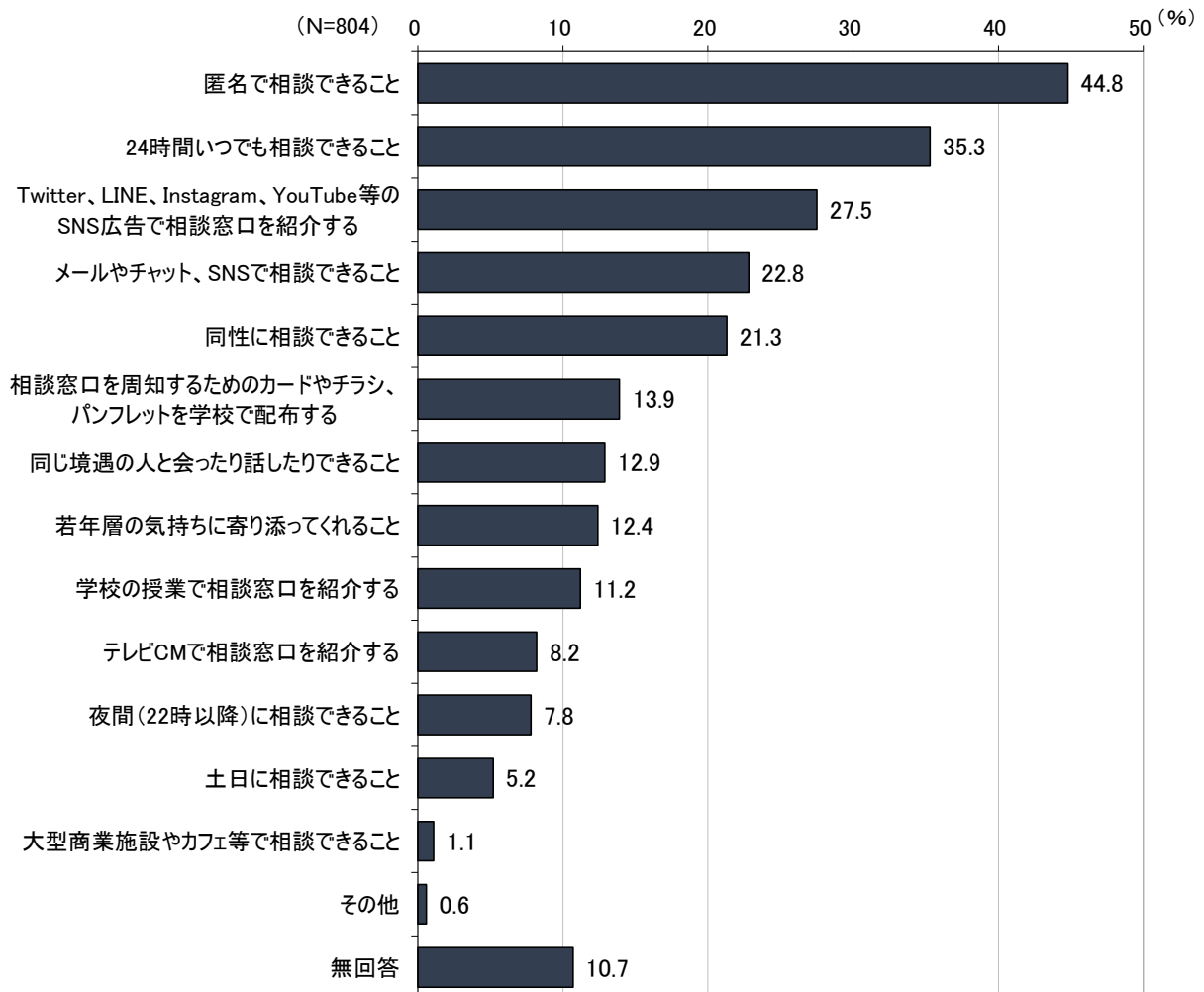
相談しなかった、できなかった理由についてたずねると、「相談するようなことがなかった（見たり聞いたりしなかった）」(67.1%)が最も多く、次いで「相談するほどのことでないと思った」(20.8%)、「相談する勇気が出なかった」(7.1%)となっています。

また、「その他」と回答した方の中には「信頼性がない、何もわからないと思っていた」、「相談しても相手を困らせてしまうかと思って相談できない」、「自分で解決したかった」などの意見があがっています。



問6 相談機関に相談しやすい状況にするためには、どのような広報や体制が効果的だと思いますか。(〇は最も有効と思うものから3つまで)

相談機関に相談しやすい状況にするために効果的な広報や体制についてたずねると、「匿名で相談できること」(44.8%)が最も多く、次いで「24時間いつでも相談できること」(35.3%)、「Twitter、LINE、Instagram、YouTube等のSNS広告で相談窓口を紹介する」(27.5%)、「メールやチャット、SNSで相談できること」(22.8%)となっています。



<第2章 調査結果(高校生)>

問7 最後に、様々な悩みを抱える女性への支援について、意見や要望があれば教えてください。

意見や要望について下記にまとめました。

意見・要望	
1	女の子は大変。
2	誰かに相談する。そしてはなれろ。
3	男性が女性の悩みをより理解することが大切だと思う。
4	身体的暴力やデートDVをされている人は女性だけじゃないと思う。
5	気軽に相談できる場所が増えてほしい。
6	一人で抱え込まずに、色々な人に相談する。
7	女性の意見を、聞いてあげる。
8	もっと相談窓口を知らせる。
9	女性も自分らしく好きなように生きて良いと思う。
10	一人で抱え込まず信頼できる人だけでもいいので相談する。その時の環境を変える。
11	もっとテレビのCMで相談できる場所を放送した方がいいと思う。
12	生理用品は無償で配ってくれと助かります。
13	もっと社会全体の意識が変わり暮らしやすくなったらいい。
14	1人で悩まずに近くの人と相談した方がいいと思います。
15	女性自身も自分の体を大切にして危険だと感じたら、警察ではなく、このような相談場所に相談する方が大事。
16	私たちが何とかしてあげるといふ考えをしているのがあからさまで、そういう人たちがいると相談したくなくなる。
17	相談しやすいように、メールでやりとりできたらいいと思う。
18	頑張る女の子はえらい。
19	電話やインターネットを使つての相談ができない人のために、地域の相談機関を増やしてほしい。
20	うっとうしい男を減らしてくれ。
21	女性が生きやすい社会をつくっていきたい。
22	世界は広いよって。
23	どんなに小さな悩みであっても真摯に向き合つて、身体的、精神的なサポートが必要。「女性だから」と特別扱いをするんじゃないで、気にかけてあげて、困ってるな、と思ったときに助けてあげること。あと、相談とかだとできない人がいるかもしれないから、掲示板とかの書き込みとかを試してみるといいかも。
24	体育の授業は男女分けてほしい。
25	男性側に女性のことをもっとくわしく知ってもらえればと思う。
26	より多くの人に心理的虐待の知識をもってほしい。
27	男女差別の思考や、育児や家事を放棄する人が沢山いるから、義務教育の段階でしっかり教えてほしいです。そんな人たちに子どもを産ませないでほしいです。

<第2章 調査結果(高校生)>

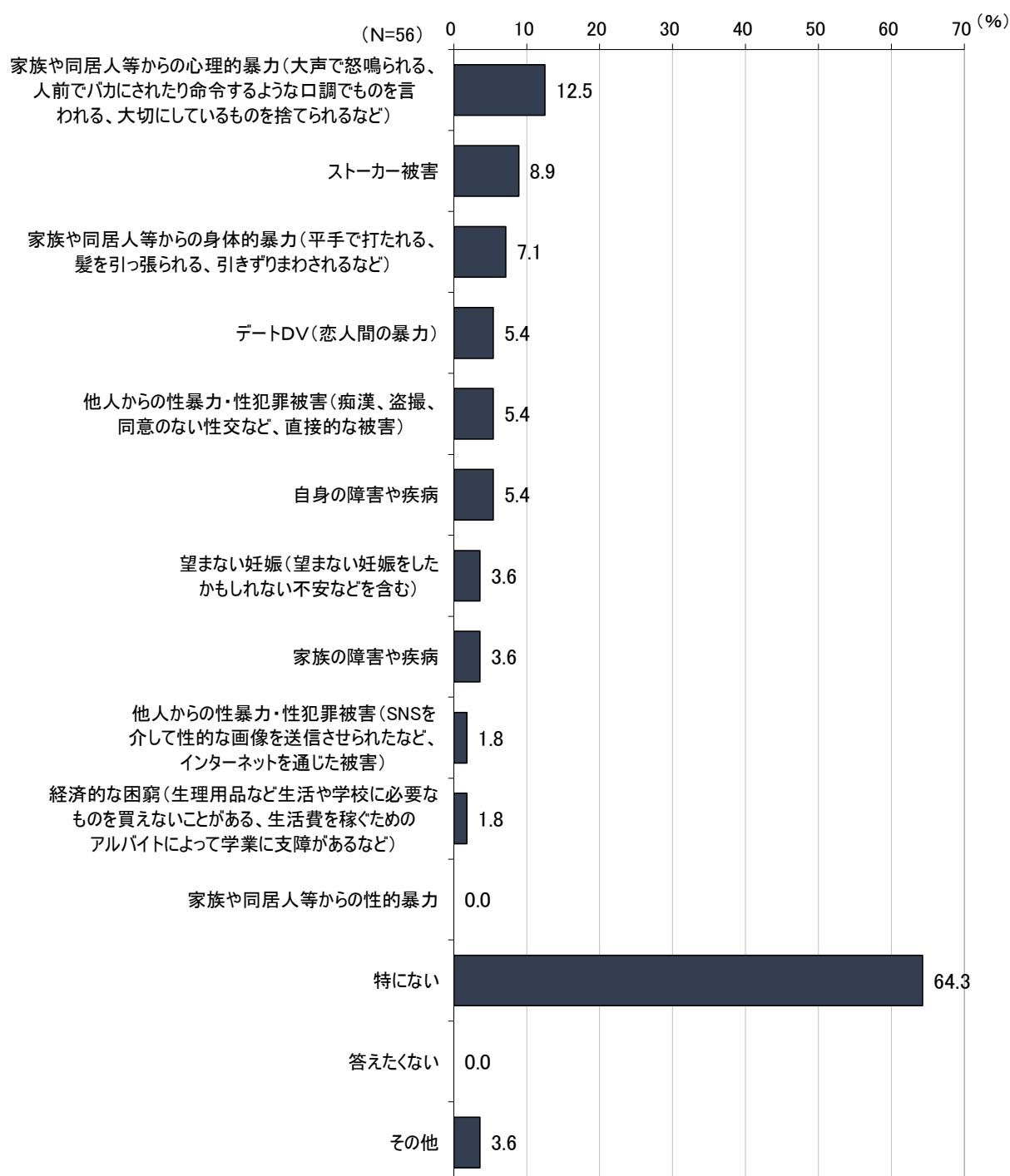
意見・要望	
28	話している最中は聞くだけで、話している途中で何かを言ったりしないでほしい人もいると思うので、まずは全てを聞いてからにしてほしい。何か否定するような言葉は使わないでほしい（否定するように聞こえる言葉なども）。できるだけ同じ境遇にあった人にしてほしい。
29	どこでも相談のできる環境を。
30	身近な環境で、女性を支えられる方法をもう少したくさん考えれば良いと思った。窓口じゃなくても、学校、友人に気軽に相談できる環境をこれから作ってあげてほしいと思う。
31	みんなでゲームをして安らぎを与える。
32	市町村が相談のできる場を設ける。気軽に相談できるような雰囲気を作る。
33	近い存在であってほしい。
34	相談して楽になるなら気軽に相談するとういと思う。
35	苦しくても言えないのが、少しでもなくなればいいな。
36	悩んでいる人の心に寄り添うことが大切だと思う。
37	女性だけではないですが、このようなアンケートを取ってもやっぱり隠す人、特になにもないと答える人はでできます。なので、難しいかもしれませんが一人一人をきちんと人として見てあげてほしいです。
38	DV＝男性がするもの、この概念をなくしたい。今までは、男性のDVが特にひどくて問題だけど、今は女性もすると思うから。
39	悩みを受けやすいような環境をつくること。
40	都会のようにトイレにナプキンを売ってほしい。
41	人類の原点は女性。もっと誇らしく自信をもって生きてください。
42	ストーカーされた時、警察は相手にしてくれないし、どうしたらいいか分からなかった。

第3章 調査結果 (大学生)

問1 あなたがこれまでに抱えたことのある悩みはありますか。(〇はいくつでも)

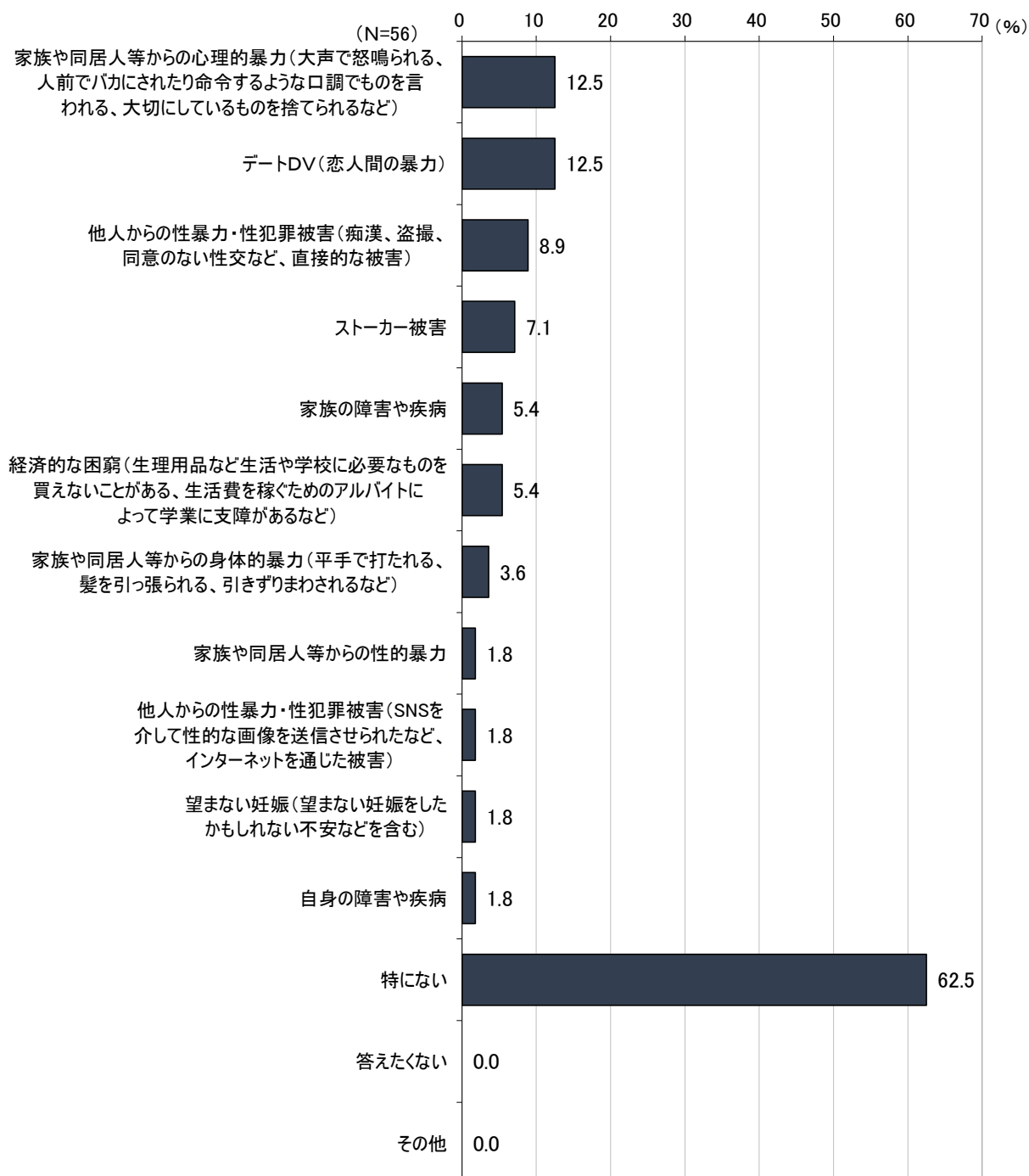
これまでに抱えたことのある悩みについてたずねると、「家族や同居人等からの心理的暴力」(12.5%)が最も多く、次いで「ストーカー被害」(8.9%)、「家族や同居人等からの身体的暴力」(7.1%)となっています。一方で、「特にない」(64.3%)も6割以上を占めています。

また、「その他」と回答した方の中には「通りすがりの知らない人から顔を覗き込まれた」などの意見があがっています。



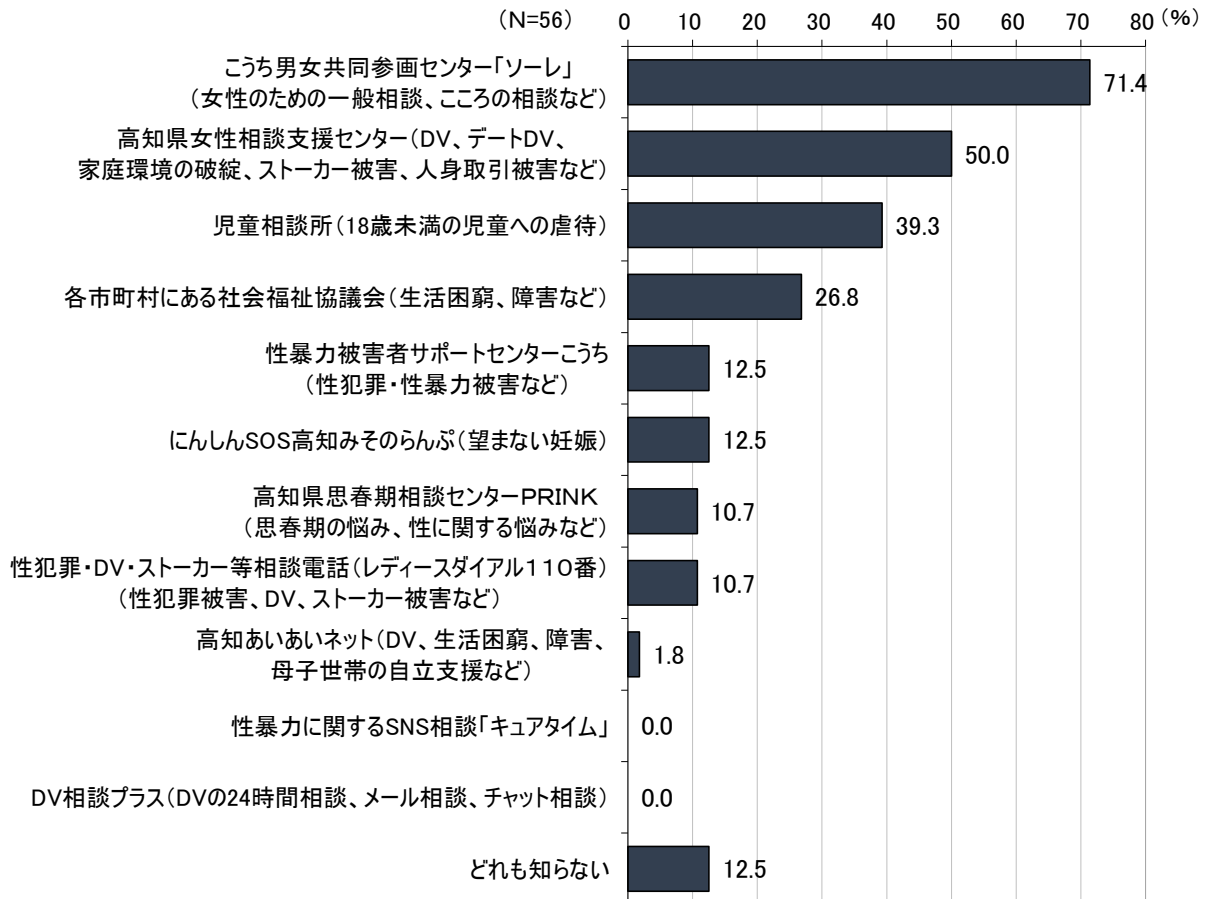
問2 同世代の知人や友人が抱えている悩みとして、見たり聞いたり相談されたりしたことがあるものはありますか。(〇はいくつでも)

同世代の知人や友人が抱えている悩みとして、見たり聞いたり相談されたりしたことについてたずねると、「家族や同居人等からの心理的暴力」、「デートDV」(同率 12.5%) が最も多く、次いで「他人からの性暴力・性犯罪被害」(8.9%)、「ストーカー被害」(7.1%) となっています。



問3 以下の相談機関（支援機関）のうち、どのような相談を受け付けているか知っているものはありますか。（〇はいくつでも）

相談機関（支援機関）のうち、どのような相談を受け付けているか知っているものについてたずねると、「こうち男女共同参画センター「ソーレ」」（71.4%）が最も多く、次いで「高知県女性相談支援センター」（50.0%）、「児童相談所」（39.3%）、「各市町村にある社会福祉協議会」（26.8%）となっています。

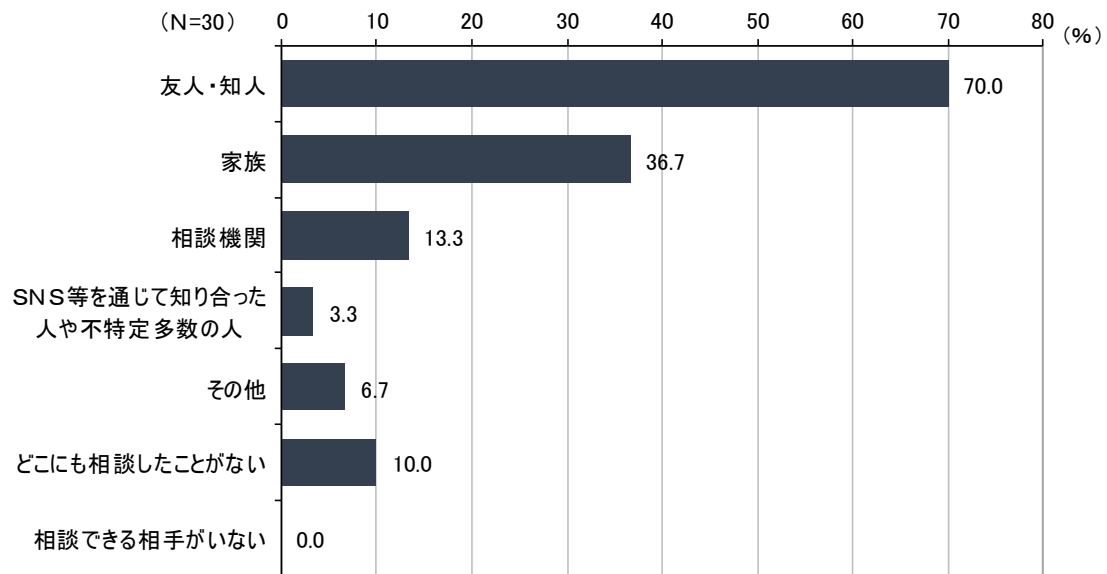


問4 あなたや周りの人が抱える悩みについて、誰に（どこに）相談しましたか。（〇はいくつでも）

※問1・2でいずれも「特にない」を選択した以外の方を抽出し、集計しました。

自身や周りの人が抱える悩みの相談先についてたずねると、「友人・知人」（70.0%）が最も多く、次いで「家族」（36.7%）、「相談機関」（13.3%）となっています。

また、「その他」と回答した方の中には「学校の先生」、「学校内の健康管理センター」などの意見があがっています。



副問1 相談に利用したSNS等は何ですか。（〇はいくつでも）

相談に利用したSNS等は「Twitter」、「その他」となっています。

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	全体	T w i t t e r	I n s t a g r a m	T i k T o k	掲 示 板	そ の 他
【表の見方】 比率 (%)						
全体	1	100.0	-	-	-	100.0

<第3章 調査結果(大学生)>

副問2 相談した機関はどこですか。(〇はいくつでも)

相談した機関についてたずねると、「こうち男女共同参画センター「ソーレ」(25.0%)」となっており、「左記以外」(75.0%)が8割を占めています。

また、「左記以外」と回答した方の中には「学校」、「病院の精神科」などの意見があがっています。

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)
【表の見方】 比率(%)	高知県女性相談支援センター(DV、デートDV、家庭環境の破壊、ストーカー被害、人身取引被害など)	こうち男女共同参画センター「ソーレ」(女性のための一般相談、こころの相談など)	高知県思春期相談センターPRINK(思春期の悩み、性に関する悩みなど)	性暴力被害者サポートセンターこうち(性犯罪・性暴力被害など)	性犯罪・DV・ストーカー等相談電話(レディーズダイヤル110番)(性犯罪被害、DV、ストーカー被害など)	性暴力に関するSNS相談「キュアタイム」	高知あいあいネット(DV、生活困窮、障書、母子世帯の自立支援など)	高知中央児童相談所(18歳未満の児童への虐待)	にしんSOS高知みそのらんぷ(望まない妊娠)	DV相談プラス(DVの24時間相談、メール相談、チャット相談)	各市町村にある社会福祉協議会(生活困窮等)	市町村役場	警察(性犯罪被害相談電話を含む)	左記以外
全体	4.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	75.0

副問3 相談した結果、どう感じましたか。(〇はひとつだけ)

相談した結果の満足度についてたずねると、すべての項目で「満足できる対応だった」と「まあまあ満足できる対応だった」を合わせた【満足】と回答した方の割合が最も多くなっています。

	全体	(1) 満足 できる 対応 だった	(2) まあ まあ 満足 できる 対応 だった	(3) ど ち ら だ も な い	(4) で や ま な か つ た	(5) 不 満	(1)+(2) 満 足	(4)+(5) 不 満
【表の見方】 比率(%)								
Twitter	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
その他	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
こうち男女共同参画センター「ソーレ」	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
上記以外	3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

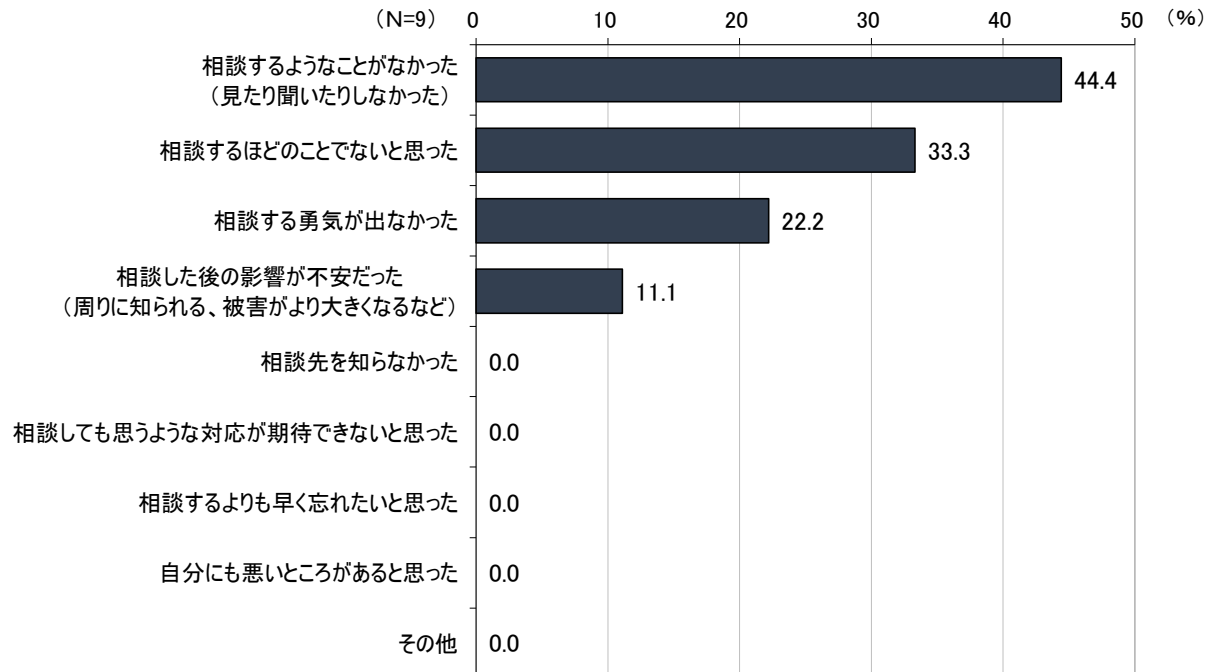
相談した結果、どう感じたか具体的な内容について

満足と感じた意見

- ・ 普段身近にいない人の方が相談しやすく、年齢や経験も異なるため自分にはない視点を教えて貰えたから。過去の自分を知らない人の方が相談内容だけに対応してもらえるから。完全に全てを打ち明けて相談することはできないが気持ちを楽にする程度の相談でも相手が与えてくれた答えに救われることがあるから。(LINE)

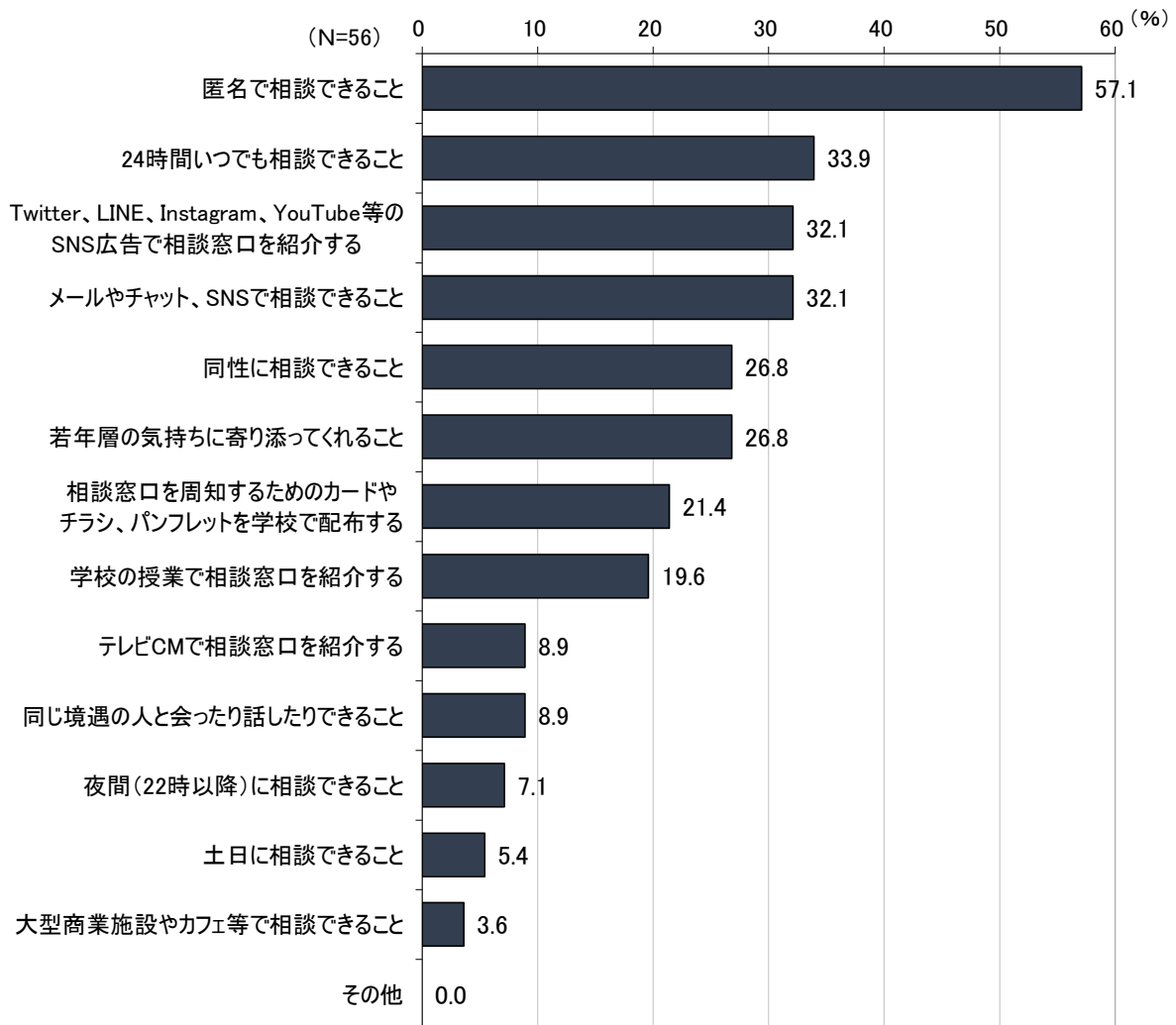
副問4 相談しなかった、できなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

相談しなかった、できなかった理由についてたずねると、「相談するようなことがなかった（見たり聞いたりしなかった）」(44.4%)が最も多く、次いで「相談するほどのことでないと思った」(33.3%)、「相談する勇気が出なかった」(22.2%)となっています。



問5 相談機関に相談しやすい状況にするためには、どのような広報や体制が効果的だと思いますか。(〇は最も有効と思うものから3つまで)

相談機関に相談しやすい状況にするために効果的な広報や体制についてたずねると、「匿名で相談できること」(57.1%)が最も多く、次いで「24時間いつでも相談できること」(33.9%)、「Twitter、LINE、Instagram、YouTube等のSNS広告で相談窓口を紹介する」、「メールやチャット、SNSで相談できること」(同率32.1%)となっています。



問6 最後に、様々な悩みを抱える女性への支援について、意見や要望があれば教えてください。

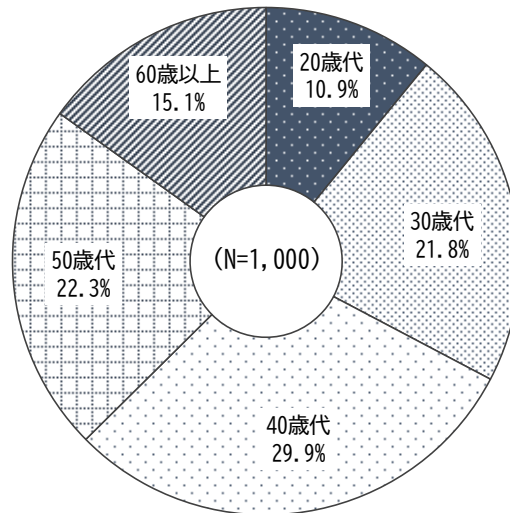
意見や要望について下記にまとめました。

意見・要望	
1	生理用品については、深刻な問題だと思います。エリスの奨学ナプキンのような支援を行ってはどうでしょうか。心身ともに不安定な上に、経済的事情によって生理に不便という状況はあってはならないと思います。また、相談窓口は庁舎内などではなく女性が相談しやすいような環境が整った施設・場所で行えるといいな、と思います。これは個人的に考えることなどですが、相談をしに行くと、とても長い待ち時間があったり、なにかの証明書や手続きなどを求められたりすると「誰かが自分の話を聞いてくれる」というより「仕事の1つとして聞いているんだな」という気がする人もいられるかもしれません。なので、相談前の手順を減らして、ふらっと気軽に話にいける場所の雰囲気を作れるとより相談しやすくなるかな、と思います。
2	悩みを言える環境調整。
3	子宮頸がんワクチンや検診などを土日でも行えると良い。
4	中高生等の学生向けの支援が増えたらいいと思う。
5	生理用品の無料配布が少ない。例えば、オーテピアで以前一日だけ無料配布が女性トイレ内であったが、その日に偶然見つけただけで、配布しているなど、全く情報を知らなかった。情報を周知してほしい。(知っている人と知らない人、遠くに行ける人と遠出が困難な人とは不平等だから) また、施設で無料配布しても、それをわざわざ取りにいかないといけない状況なのでとても不便。本当に使用せざるを得ない時に間に合わない。例えば、希望を募り、自宅まで匿名配送で届けてくれるようにしてほしい。電車やバスなどの公共交通機関での女性に対する痴漢行為もまだまだ消えない。女性専用の車両を早急に作ってほしい。毎日、電車やバスを利用しているが男性がわざと近寄って息を吹きかけてきたり密着してきたりする状況が高知県では実は多い。毎日ストレスに感じて辛い。スカートをはいているときは男性からの視線を凄く感じて辛い思いをしている。
6	悩みを抱える女性への直接的な支援という訳ではないが、今回のアンケートのような内容が身近ではないため、相談されたときの対応の仕方が分かりません。DVなどに関する事で相談された場合の、相手を傷つけない対応の方法を教えてください。
7	若年層の性教育をもっと充実させてほしい。また、この時に、性について勉強することは恥ずかしくないことではないということも伝えて欲しい。
8	悩みを抱えていたとしても、なかなか人に話づらい事柄であったり状況があり、孤独を感じている人がいるのではないかと考えます。話ができる環境があるということの周知、それを教育現場で伝えていくことも大切だと考えます。悩みを抱えている人が、信頼できる人に出会い、悩みが少しでも緩和されるような社会になってほしいです。

第4章 調査結果（一般県民）

あなたの年齢を教えてください。(○は1つだけ)

回答者の年齢をたずねると、「40歳代」(29.9%)が最も多く、次いで「50歳代」(22.3%)、「30歳代」(21.8%)、「60歳以上」(15.1%)となっています。

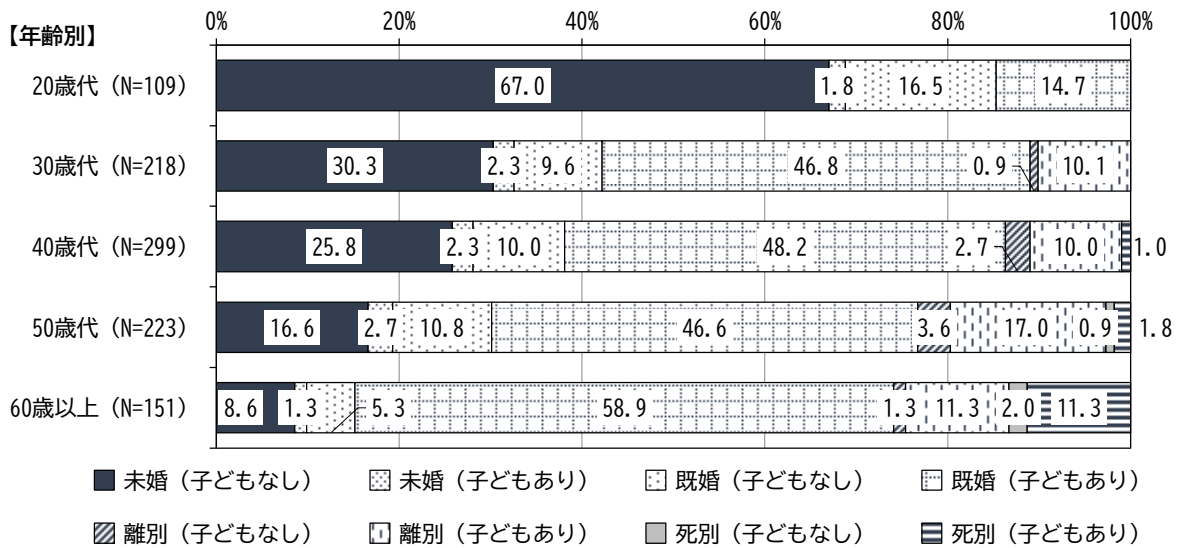
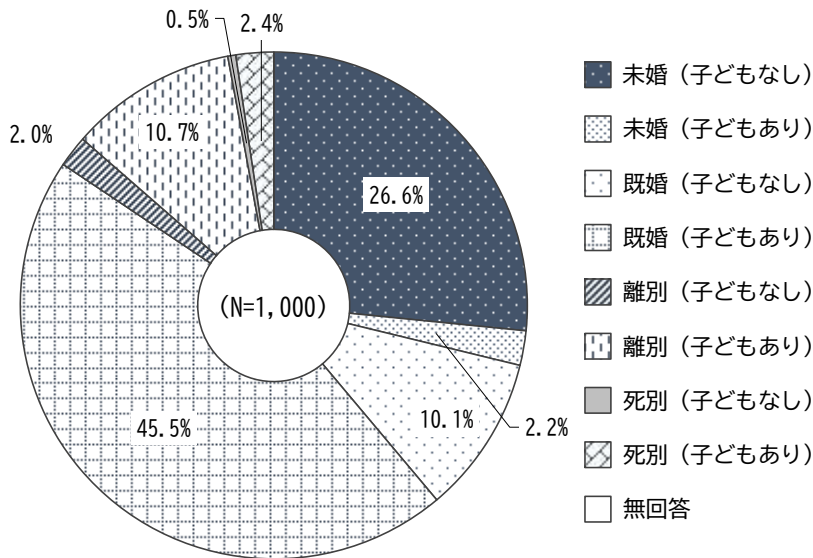


<第4章 調査結果(一般県民)>

問1 あなたの婚姻等の状況はどれですか。(○は1つだけ)

自身の婚姻等の状況をたずねると、「既婚(子どもあり)」(45.5%)が最も多く、次いで「未婚(子どもなし)」(26.6%)、「未婚(子どもなし)」(26.6%)、「離婚(子どもあり)」(10.7%)、「既婚(子どもなし)」(10.1%)となっています。

年代別にみると、20歳代では「未婚(子どもなし)」(67.0%)が最も多く、そのほかの年代では「既婚(子どもあり)」が4割以上と最も多くなっています。

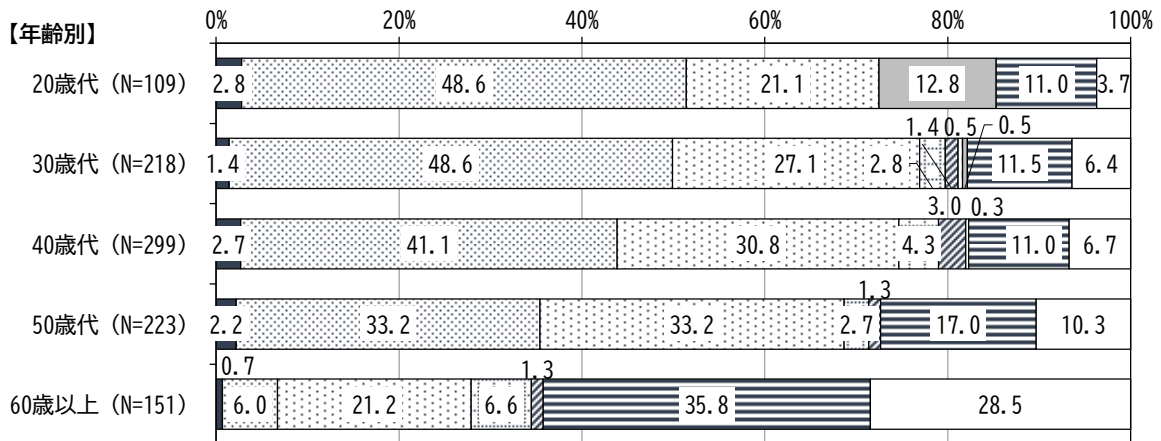
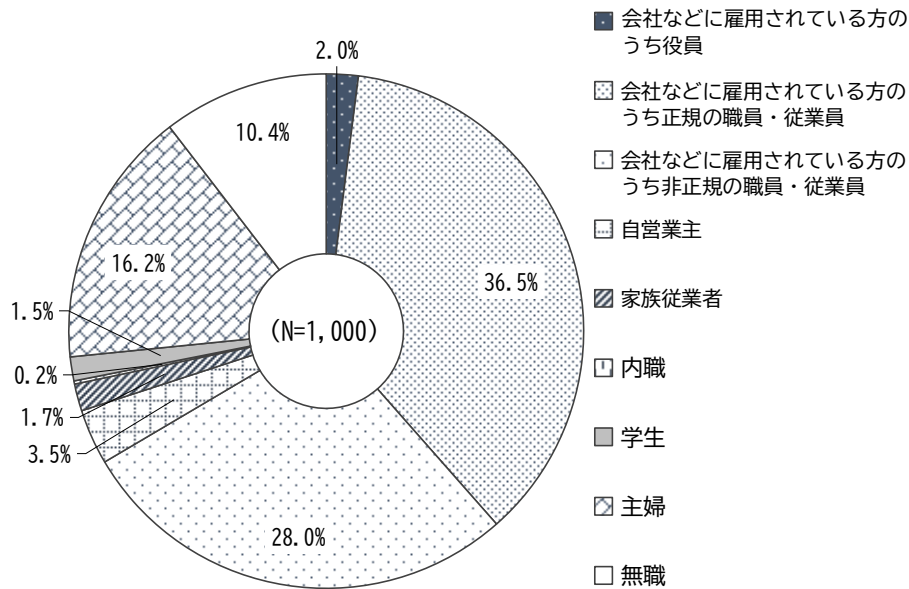


<第4章 調査結果(一般県民)>

問2 あなたの現在の就業上の地位(雇用形態など)はどれですか。(〇は1つだけ)

自身の現在の就業上の地位(雇用形態など)についてたずねると、「会社などに雇用されている方のうち正規の職員・従業員」(36.5%)が最も多く、次いで「会社などに雇用されている方のうち非正規の職員・従業員」(28.0%)、「主婦」(16.2%)、「無職」(10.4%)となっています。

年代別にみると、20歳代~40歳代では「会社などに雇用されている方のうち正規の職員・従業員」が最も多くなっている。50歳代では「会社などに雇用されている方のうち正規の職員・従業員」、「会社などに雇用されている方のうち非正規職員・従業員」(同率で33.2%)、60歳以上では「主婦」(35.8%)が最も多くなっています。



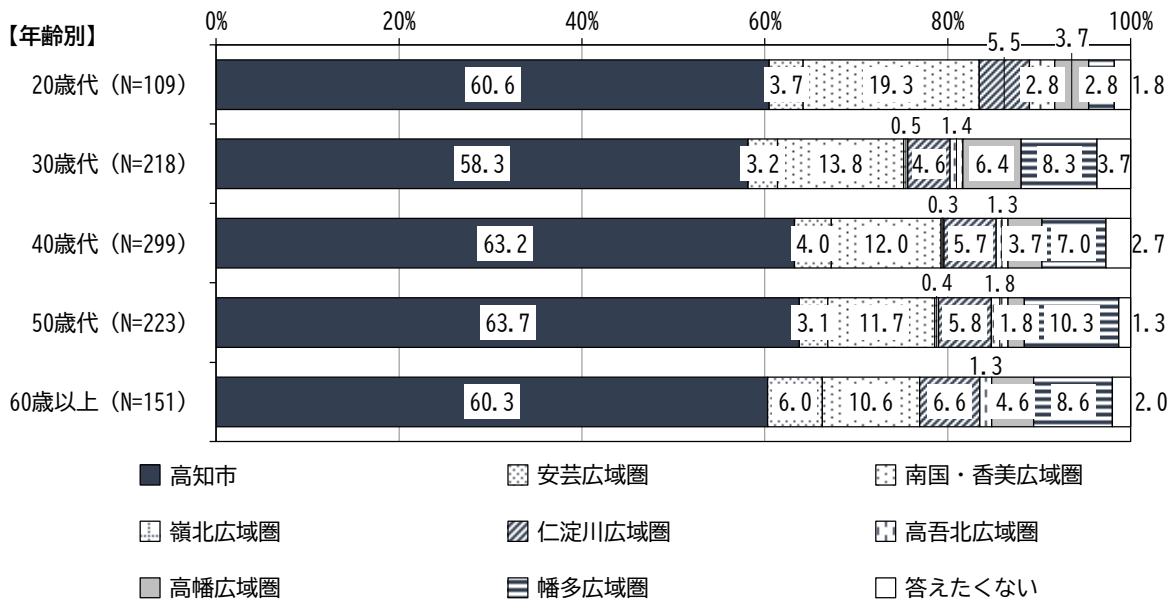
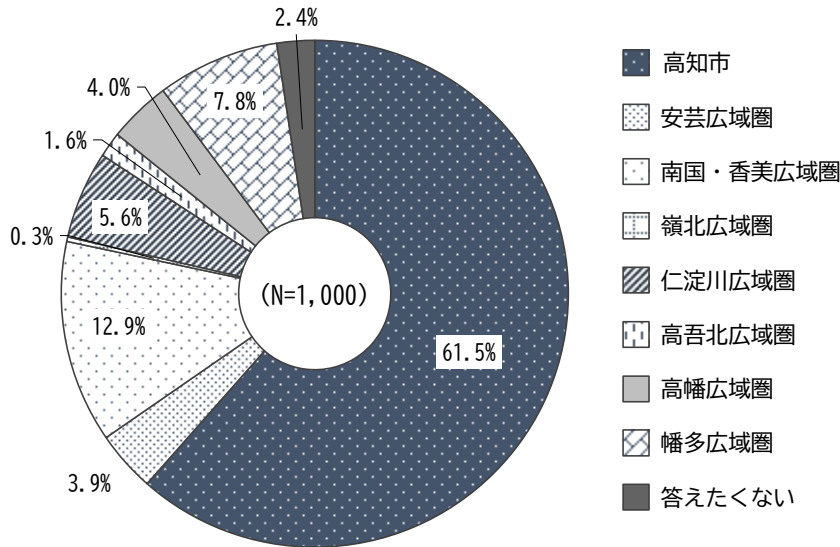
- 会社などに雇用されている方のうち役員
- ▨ 会社などに雇用されている方のうち正規の職員・従業員
- ▩ 会社などに雇用されている方のうち非正規の職員・従業員
- ▧ 自営業主
- ▦ 家族従業者
- ▥ 内職
- ▤ 学生
- ▣ 主婦
- 無職

<第4章 調査結果(一般県民)>

問3 あなたの居住地(住んでいる地域)はどこですか。

自身の居住地(住んでいる地域)についてたずねると、「高知市」(61.5%)が最も多く、次いで「南国・香美広域圏」(12.9%)、「幡多広域圏」(7.8%)となっています。

年代別にみると、いずれの年代も「高知市」が5割以上と最も多く、特に50歳代では63.7%と最も多くなっています。

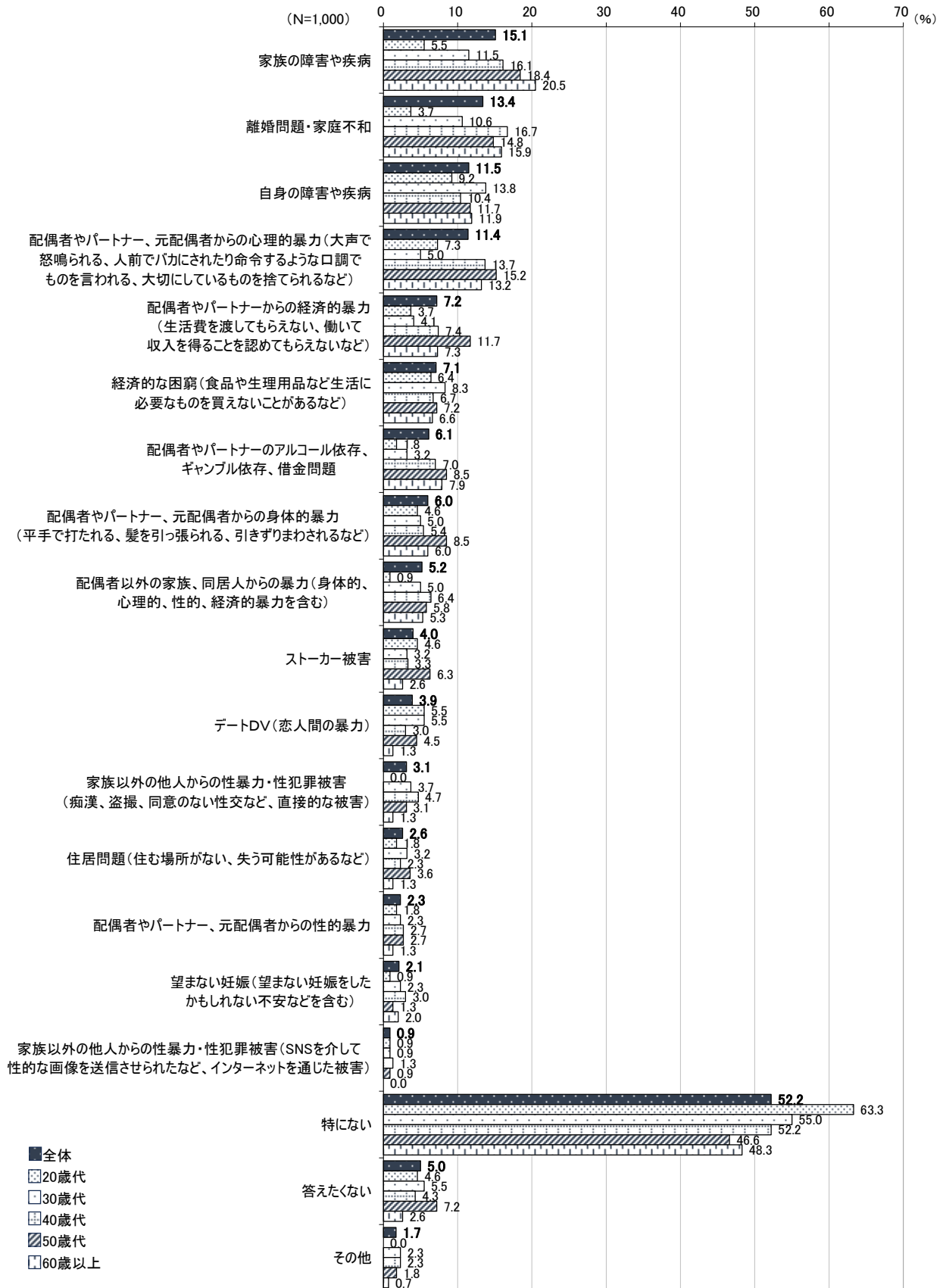


問4 あなたがこれまでに抱えたことのある悩みはありますか。(〇はいくつでも)

これまでに抱えたことのある悩みについてたずねると、「家族の障害や疾病」(15.1%)が最も多く、次いで「離婚問題・家庭不和」(13.4%)、「自身の障害や疾病」(11.5%)、「配偶者やパートナー、元配偶者からの心理的暴力」(11.4%)となっています。一方で、「特にない」(52.2%)も半数以上を占めています。

年代別にみると、40歳代～60歳以上では「離婚問題・家庭不和」、「配偶者やパートナー、元配偶者からの心理的暴力」と回答した方の割合がほかの年代と比べて多くなっています。

<第4章 調査結果(一般県民)>



<第4章 調査結果(一般県民)>

■問4 (これまでに抱えたことのある悩み) × 婚姻状況別・就業状況別・居住地区別

これまでに抱えたことのある悩みを婚姻状況別に見ると、未婚(子どもなし)、既婚、死別の場合には「特になし」という回答が最も多くなっていますが、未婚(子どもあり)、離別の場合には「配偶者やパートナー、元配偶者等からの身体的暴力」、「離婚問題・家庭不和」、「経済的な困窮」、「自身の障害や疾病」などの回答が最も多くなっており、シングルマザーや離婚を経験した女性が悩みを抱えている傾向が見られます。

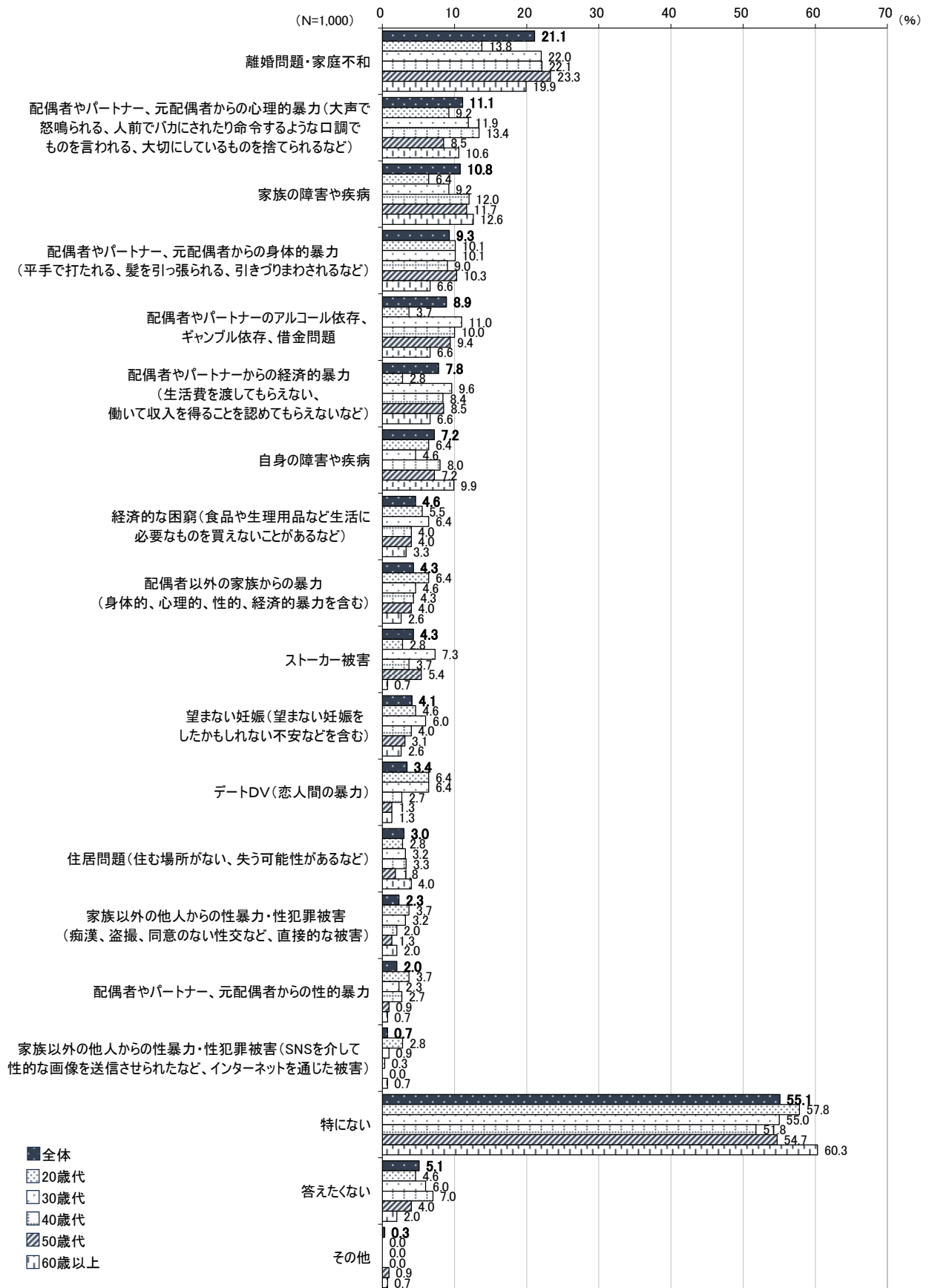
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)		
	調査数	家族の障害や疾病	離婚問題・家庭不和	自身の障害や疾病	配偶者やパートナー、元配偶者からの身体的暴力(大げな口調でものを言われるなど)	配偶者やパートナーからの経済的暴力(生活費を減らさないなど)	経済的な困窮(食品や生理用品など生活に必要なものを買えないことがあるなど)	問題者やパートナーのアルコール依存、ギャンブル依存、借金	配偶者やパートナー、元配偶者からの身体的暴力(平手で打たれる、髪を引っ張られる、引きずりまわされるなど)	配偶者以外の家族、同居人からの暴力(身体的、心理的、性的、経済的暴力を含む)	ストーカー被害	デートDV(恋人間の暴力)	家族以外の他人からの性暴力・性犯罪被害(痴漢、盗撮、同意のない性交など、直接的な被害)	住居問題(住む場所がない、失う可能性があるなど)	配偶者やパートナー、元配偶者からの性的暴力	かもしれない妊娠(望まない妊娠をした)	家族以外の他人からの性暴力・性犯罪被害(SNSを介して性的画像を送信させられたなど、インターネットを通じて被害)	特になし	答えたくない	その他	
全体	1,000	15.1	13.4	11.5	11.4	7.1	7.1	6.0	5.2	4.0	3.9	3.1	2.6	2.3	2.1	0.9	52.2	5.0	1.7		
婚姻状況	未婚(子どもなし)	266	12.0	4.5	15.8	5.3	1.1	6.4	2.3	3.0	4.1	2.3	3.8	1.9	3.8	1.1	1.9	-	57.5	6.0	2.3
	未婚(子どもあり)	22	13.6	27.3	13.6	22.7	18.2	27.3	18.2	27.3	13.6	4.5	4.5	4.5	13.6	9.1	4.5	18.2	18.2	-	
	既婚(子どもなし)	101	10.9	5.0	8.9	5.0	5.9	3.0	4.0	2.0	3.0	3.0	4.0	1.0	2.0	2.0	2.0	59.4	7.9	3.0	
	既婚(子どもあり)	455	17.1	10.8	7.5	9.5	5.5	3.3	5.5	3.3	4.2	2.4	1.8	2.0	0.4	1.1	0.4	0.7	58.5	3.7	1.3
	離別(子どもなし)	20	15.0	30.0	35.0	10.0	15.0	20.0	10.0	5.0	10.0	5.0	10.0	10.0	10.0	10.0	5.0	25.0	-	-	
	離別(子どもあり)	107	15.9	46.7	15.9	34.6	25.2	20.6	15.9	21.5	11.2	12.1	14.0	8.4	9.3	6.5	5.6	1.9	20.6	4.7	1.9
	死別(子どもなし)	5	-	-	-	20.0	20.0	-	20.0	20.0	-	20.0	-	-	-	-	-	-	80.0	-	-
死別(子どもあり)	24	29.2	25.0	12.5	29.2	12.5	16.7	8.3	16.7	8.3	4.2	4.2	-	4.2	8.3	-	33.3	-	-		
就業状況	会社などに雇用されている方のうち役員	20	20.0	10.0	10.0	5.0	5.0	5.0	-	10.0	-	10.0	-	-	-	-	-	50.0	10.0	-	
	会社などに雇用されている方のうち正規の職員・従業員	365	11.8	12.6	8.8	9.0	5.8	4.9	5.8	4.1	3.0	3.0	3.8	1.4	1.1	2.5	1.4	1.1	55.6	4.1	1.4
	会社などに雇用されている方のうち非正規の職員・従業員	280	17.1	15.7	9.6	11.4	8.2	8.6	6.1	6.4	5.7	3.6	3.9	3.9	2.5	2.1	0.7	51.4	6.1	1.8	
	自営業主	35	8.6	17.1	11.4	22.9	8.6	17.1	5.7	11.4	14.3	-	2.9	-	2.9	-	2.9	-	48.6	5.7	2.9
	家族従業者	17	23.5	23.5	5.9	29.4	17.6	17.6	-	5.9	11.8	5.9	-	-	-	5.9	-	35.3	-	11.8	
	内職	2	100.0	50.0	-	-	-	-	-	100.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	
	学生	15	6.7	6.7	6.7	13.3	-	13.3	6.7	6.7	6.7	6.7	-	6.7	-	-	-	66.7	6.7	-	
主婦	162	16.0	8.0	12.3	11.1	6.2	1.2	6.2	5.6	4.9	4.9	3.7	3.1	0.6	1.9	0.6	0.6	56.2	3.7	0.6	
無職	104	19.2	16.3	26.9	14.4	10.6	14.4	9.6	6.7	6.7	5.8	8.7	7.7	3.8	6.7	1.9	39.4	6.7	2.9		
居住地区	高知市	615	13.2	12.0	11.4	10.7	7.3	7.5	5.9	5.5	4.2	3.7	4.6	2.6	2.8	1.8	1.0	53.8	4.1	1.3	
	安芸広域圏	39	12.8	20.5	10.3	15.4	12.8	10.3	7.7	12.8	5.1	2.6	2.6	-	-	2.6	-	53.8	7.7	-	
	南国・香美広域圏	129	23.3	15.5	12.4	9.3	5.4	4.7	8.5	6.2	5.4	2.3	1.6	2.3	3.9	2.3	3.1	-	48.8	4.7	3.1
	嶺北広域圏	3	-	33.3	-	33.3	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	66.7	-	-
	仁淀川広域圏	56	23.2	19.6	14.3	14.3	8.9	7.1	8.9	3.6	12.5	1.8	1.8	5.4	1.8	3.6	-	35.7	8.9	-	
	高吾北広域圏	16	12.5	12.5	12.5	18.8	6.3	6.3	6.3	-	6.3	12.5	6.3	12.5	-	-	6.3	6.3	56.3	-	-
	高幡広域圏	40	7.5	5.0	7.5	7.5	7.5	7.5	2.5	2.5	5.0	10.0	7.5	5.0	2.5	-	2.5	2.5	57.5	2.5	2.5
幡多広域圏	78	17.9	16.7	10.3	17.9	6.4	7.7	3.8	11.5	7.7	6.4	2.6	5.1	1.3	2.6	1.3	1.3	51.3	5.1	2.6	
答えたくない	24	12.5	12.5	16.7	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	-	4.2	4.2	-	4.2	-	-	-	54.2	25.0	8.3	

問5 同世代の知人や友人が抱えている悩みとして、見たり聞いたり相談されたりしたことがあるものはありますか。(〇はいくつでも)

同世代の知人や友人が抱えている悩みとして、見たり聞いたり相談されたりしたことについてたずねると、「離婚問題・家庭不和」(21.1%)が最も多く、次いで「配偶者やパートナー、元配偶者からの心理的暴力」(11.1%)、「家族の障害や疾病」(10.8%)、「配偶者やパートナー、元配偶者からの身体的暴力」(9.3%)となっています。

年代別にみると、20歳代では「配偶者やパートナーのアルコール依存、ギャンブル依存、借金問題」、「配偶者やパートナーからの経済的暴力(生活費を渡してもらえない、働いて収入を得ることを認めてもらえないなど)」と回答した方の割合がほかの年代と比べて低くなっています。

<第4章 調査結果(一般県民)>

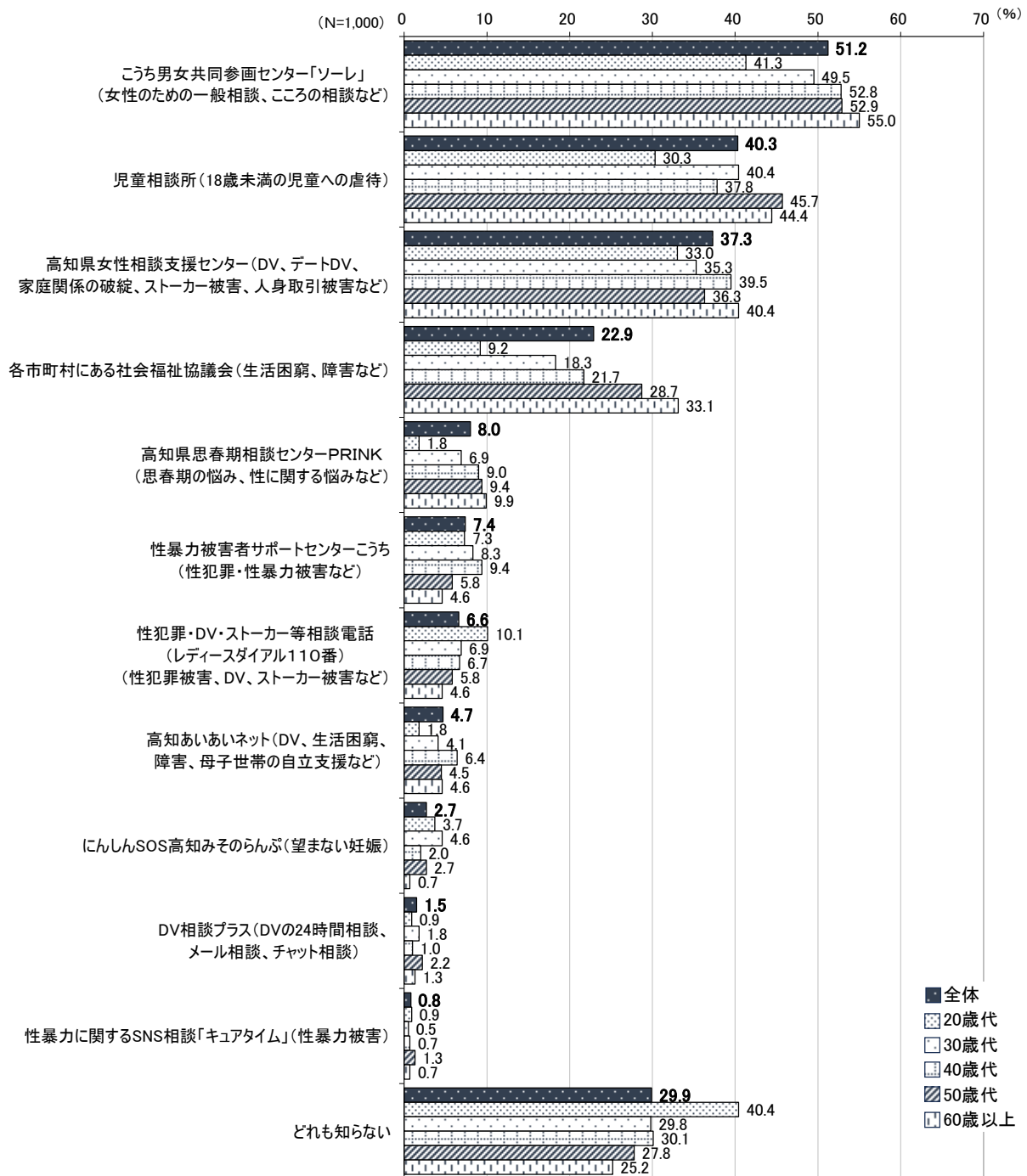


<第4章 調査結果(一般県民)>

問6 以下の相談機関(支援機関)のうち、どのような相談を受け付けているか知っているものはありますか。(〇はいくつでも)

相談機関(支援機関)のうち、どのような相談を受け付けているか知っているものについてたずねると、「こうち男女共同参画センター「ソーレ」(51.2%)が最も多く、次いで「児童相談所」(40.3%)、「高知県女性相談支援センター」(37.3%)、「各市町村にある社会福祉協議会」(22.9%)となっています。一方で、「どれも知らない」(29.9%)も3割を占めています。

年代別にみると、「こうち男女共同参画センター「ソーレ」」、「児童相談所」、「各市町村にある社会福祉協議会」、「高知県思春期相談センターPRINK」では、20歳代の認知度が他の年代に比べて低くなっています。

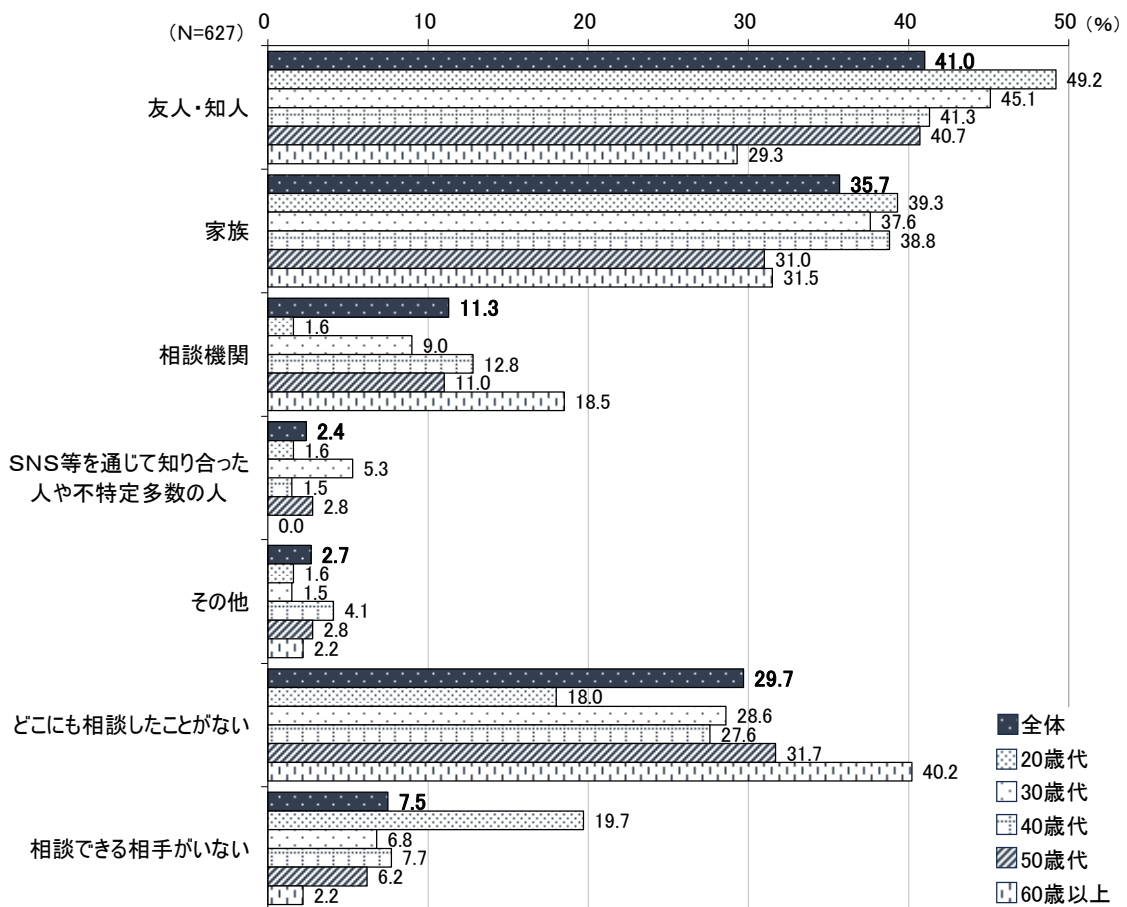


問7 あなたや周りの人が抱える悩みについて、誰に(どこに)相談しましたか。(〇はいくつでも)

※問4・5でいずれも「特にない」を選択した以外の方を抽出し、集計しました。

自身や周りの人が抱える悩みの相談先についてたずねると、「友人・知人」(41.0%)が最も多く、次いで「家族」(35.7%)、「相談機関」(11.3%)となっています。一方で、「どこにも相談したことがない」(29.7%)も約3割を占めています。

年代別にみると、20歳代から50歳代では「友人・知人」が最も多く、60歳以上では「どこにも相談したことがない」が40.2%と最も多くなっています。一方、20歳代では「相談できる相手がない」が40.2%と最も多くなっています。



<第4章 調査結果(一般県民)>

■問7 (自身や周りの人が抱える悩みの相談先) ×婚姻状況別・就業状況別・居住地区別

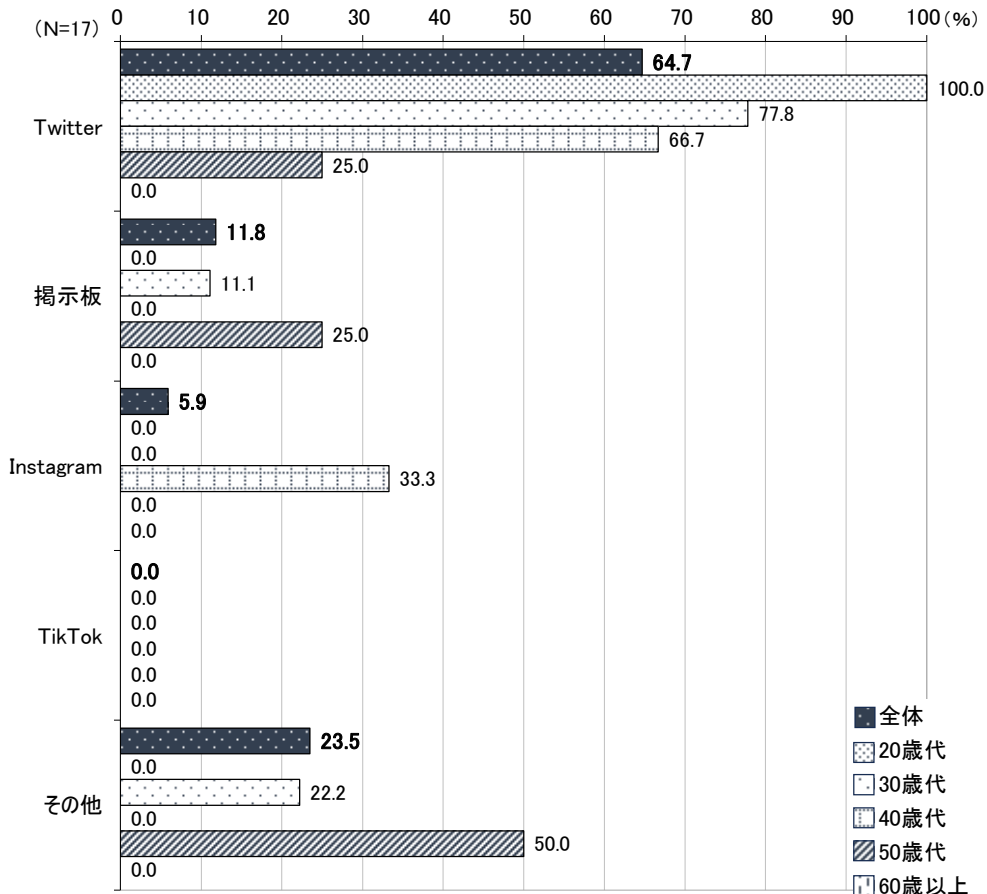
自身や周りの人が抱える悩みの相談先について、就業状況別に見ると、家族従事者は「家族」と回答した方の割合が最も多く、その他の就業状況では「友人・知人」と回答した方の割合が最も多くなっています。一方、学生では「相談できる相手がいない」、無職では「どこにも相談したことがない」と回答した方の割合も多くなっています。

		調査数	(1) 友人・知人	(2) 家族	(3) 相談機関	(4) SNS等を通じて知り合った人や不特定多数の人	(5) その他	(6) どこにも相談したことがない	(7) 相談できる相手がいない
【表の見方】 比率(%) 網掛け=			1位	2位					
全体		627	41.0	35.7	11.3	2.4	2.7	29.7	7.5
婚姻状況	未婚(子どもなし)	156	36.5	25.6	5.1	4.5	3.2	32.1	15.4
	未婚(子どもあり)	19	47.4	21.1	5.3	-	-	26.3	10.5
	既婚(子どもなし)	55	45.5	45.5	1.8	3.6	-	25.5	10.9
	既婚(子どもあり)	267	41.2	39.3	13.9	1.1	1.9	29.6	4.1
	離別(子どもなし)	17	29.4	35.3	17.6	-	5.9	29.4	5.9
	離別(子どもあり)	90	42.2	37.8	18.9	3.3	5.6	31.1	2.2
	死別(子どもなし)	2	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-
	死別(子どもあり)	21	57.1	42.9	14.3	-	4.8	23.8	4.8
就業状況	会社などに雇用されている方のうち役員	15	40.0	20.0	20.0	-	-	33.3	6.7
	会社などに雇用されている方のうち正規の職員・従業員	225	44.9	39.6	6.2	2.2	1.8	29.3	6.7
	会社などに雇用されている方のうち非正規の職員・従業員	176	39.8	33.0	14.2	2.8	4.0	30.7	4.5
	自営業主	24	33.3	33.3	20.8	4.2	4.2	29.2	12.5
	家族従業者	17	47.1	58.8	11.8	5.9	-	29.4	-
	内職	2	100.0	-	-	-	-	-	-
	学生	9	33.3	22.2	-	11.1	-	22.2	33.3
	主婦	87	40.2	40.2	11.5	2.3	1.1	28.7	6.9
	無職	72	33.3	26.4	16.7	-	5.6	30.6	15.3
居住地区	高知市	373	40.8	37.8	9.1	2.4	1.9	29.2	8.3
	安芸広域圏	20	55.0	35.0	15.0	5.0	5.0	15.0	-
	南国・香美広域圏	82	31.7	28.0	15.9	2.4	4.9	31.7	9.8
	嶺北広域圏	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-
	仁淀川広域圏	45	46.7	42.2	17.8	2.2	-	35.6	2.2
	高吾北広域圏	11	54.5	18.2	9.1	-	-	18.2	9.1
	高幡広域圏	25	48.0	32.0	12.0	-	4.0	36.0	-
	幡多広域圏	55	41.8	34.5	12.7	3.6	3.6	32.7	5.5
	答えたくない	14	35.7	28.6	14.3	-	14.3	21.4	21.4

副問1 相談に利用したSNS等は何ですか。(〇はいくつでも)

相談に利用したSNS等についてたずねると、「Twitter」(64.7%)が最も多く、次いで「掲示板」(11.8%)、「Instagram」(5.9%)となっています。一方で、「その他」(23.5%)も2割を占めています。

年代別にみると、20歳代では「Twitter」が100.0%とほかの年代と比べて多くなっています。

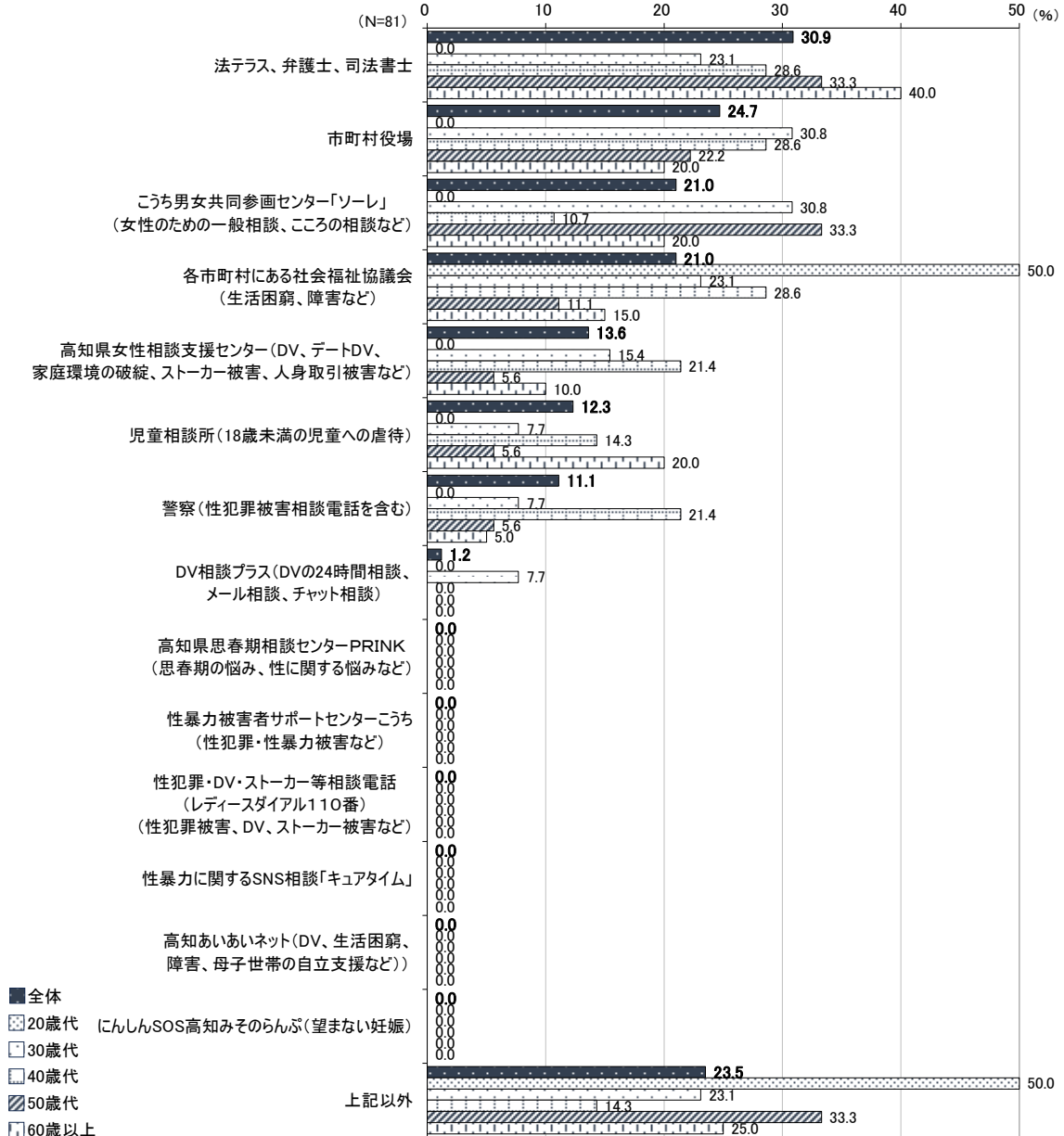


<第4章 調査結果(一般県民)>

副問2 相談した機関はどこですか。(〇はいくつでも)

相談した機関についてたずねると、「法テラス、弁護士、司法書士」(30.9%)が最も多く、次いで「市町村役場」(24.7%)、「こうち男女共同参画センター「ソーレ」」、「各市町村にある社会福祉協議会」(同率で21.0%)となっています。また、「上記以外」(23.5%)も2割を占めています。

年代別にみると、「法テラス、弁護士、司法書士」では年齢が高くなるほど割合が多くなっており、「各市町村にある社会福祉協議会」では20歳代がほかの年代と比べて多くなっています。



<第4章 調査結果(一般県民)>

副問3 相談した結果、どう感じましたか。(○はひとつだけ)

相談した結果の満足度についてたずねると、相談機関では、「満足できる対応だった」又は「まあまあ満足できる対応だった」と回答した方の割合が最も多くなっています。

【表の見方】 比率(%)	全体	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)+(2)	(4)+(5)
		対満足 だ つ つ た る	た で ま き あ る ま あ 対 あ 満 だ 足 つ	ど ち ら で も な い	で や き な か つ た	不 満	満 足	不 満
Twitter	11	9.1	36.4	45.5	9.1	-	45.5	9.1
instagram	1	-	100.0	-	-	-	100.0	0.0
掲示板	2	50.0	50.0	-	-	-	100.0	0.0
その他	4	-	50.0	25.0	-	25.0	50.0	25.0
高知県女性相談支援センター	11	18.2	36.4	27.3	9.1	9.1	54.6	18.2
こうち男女共同参画センター「ソーレ」	17	11.8	52.9	23.5	11.8	-	64.7	11.8
児童相談所	10	-	30.0	30.0	20.0	20.0	30.0	40.0
DV相談プラス	1	100.0	-	-	-	-	100.0	0.0
各市町村にある社会福祉協議会	17	5.9	47.1	35.3	11.8	-	53.0	11.8
市町村役場	20	10.0	45.0	25.0	20.0	-	55.0	20.0
法テラス、弁護士、司法書士	25	20.0	36.0	32.0	8.0	4.0	56.0	12.0
警察	9	11.1	33.3	22.2	22.2	11.1	44.4	33.3
上記以外	19	21.1	15.8	26.3	21.1	15.8	36.9	36.9

相談した結果、どう感じたか具体的な内容について

満足と感じた意見

- ・ 同じような境遇の人に相談するので理解してもらいやすい。(Twitter/30歳代)
- ・ 気持ちに寄り添って話を聞いてくれた。(高知県女性相談支援センター/40歳代)
- ・ 的確な助言があり、協議離婚ができた。(こうち男女共同参画センター「ソーレ」/30歳代)
- ・ 親身になって話を聞いてくれて最善の方法を提案してくれた。(市町村役場/60歳以上)
- ・ 実際に行動を起こしていただき、フィードバックもしてくれた。(児童相談所/60歳以上)
- ・ 次の行動を示してくれた。(法テラス、弁護士、司法書士/60歳以上)

不満と感じた意見

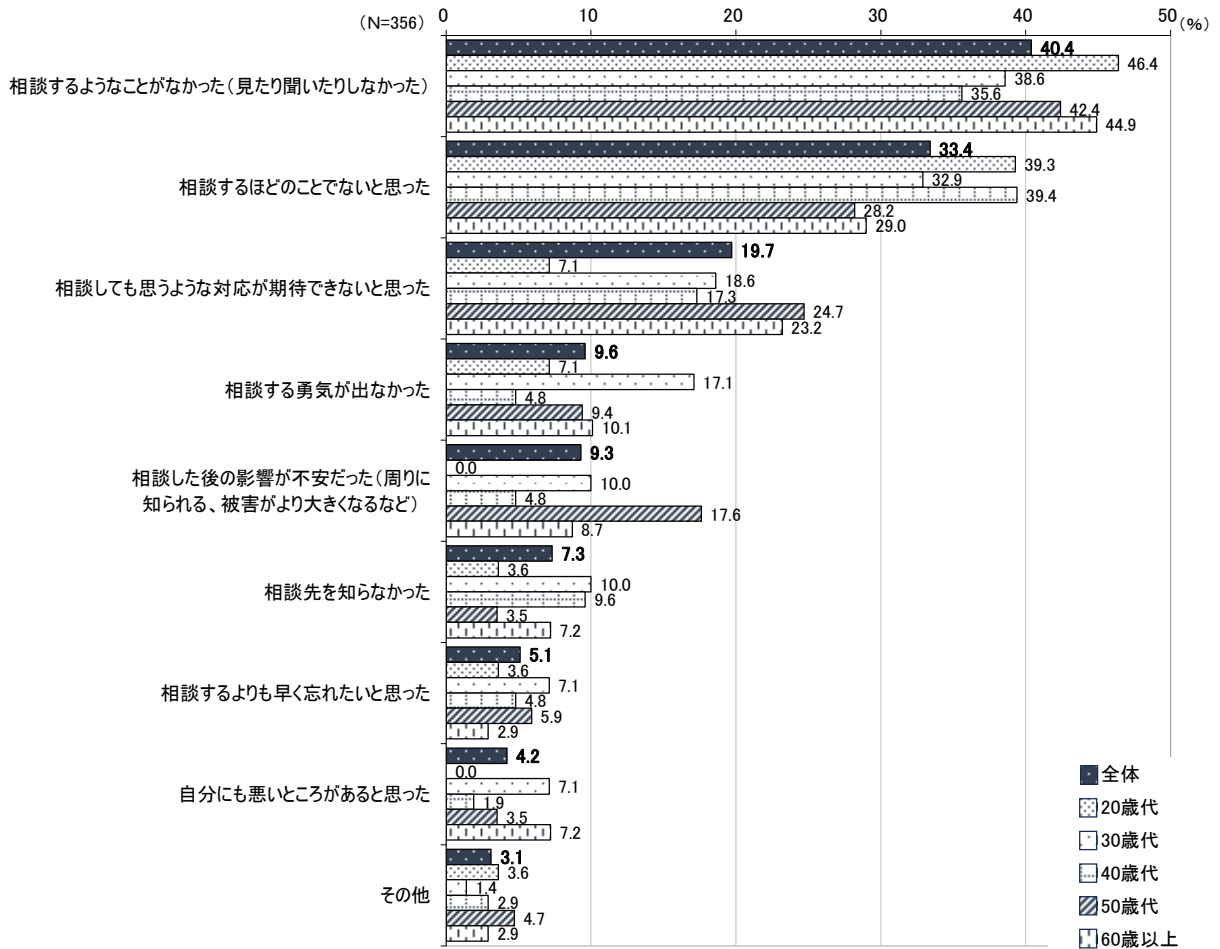
- ・ 事務的だった。(市町村役場/50歳代)
- ・ 具体的な解決方法が見つからなかった。(警察/40歳代)

<第4章 調査結果(一般県民)>

副問4 相談しなかった、できなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

相談しなかった、できなかった理由についてたずねると、「相談するようなことがなかった(見たり聞いたりしなかった)」(40.4%)が最も多く、次いで「相談するほどのことではないと思った」(33.4%)、「相談しても思うような対応が期待できないと思った」(19.7%)となっています。

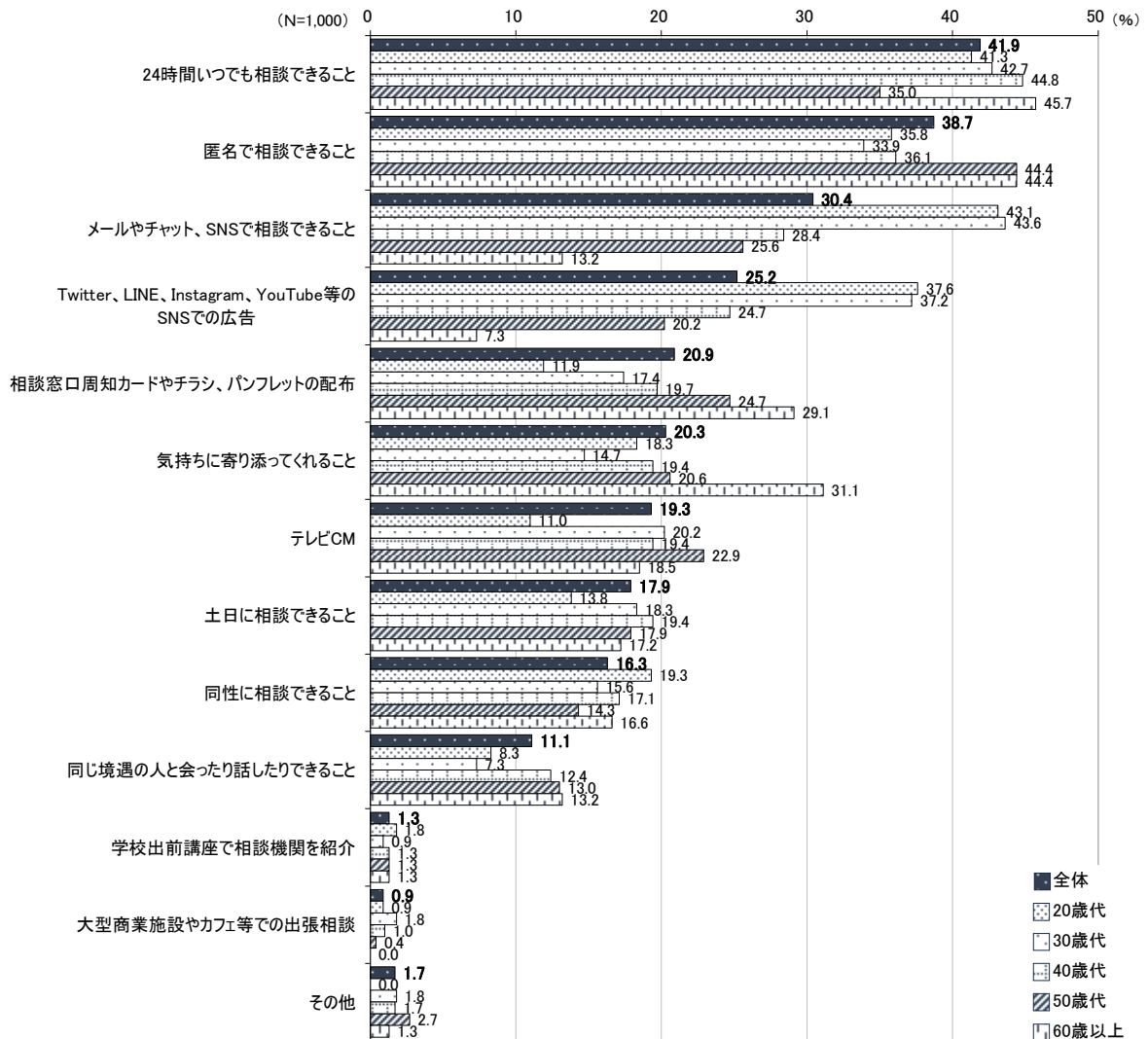
年代別にみると、30歳代では「相談する勇気が出なかった」が17.1%、50歳代では「相談した後の影響が不安だった(周りに知られる、被害がより大きくなるなど)」が17.6%とほかの年代に比べて多くなっています。



問8 相談機関に相談しやすい状況にするためには、どのような広報や体制が効果的だと思いますか。(〇は最も有効と思うものから3つまで)

相談機関に相談しやすい状況にするために効果的な広報や体制についてたずねると、「24時間いつでも相談できること」(41.9%)が最も多く、次いで「匿名で相談できること」(38.7%)、「メールやチャット、SNSで相談できること」(30.4%)となっており、相談体制に関する回答が多くあげられています。

広報の手法では、20歳代、30歳代、40歳代では「Twitter、LINE、Instagram、YouTube等のSNSでの広告」が最も多く、50歳代、60歳以上では「相談窓口周知カードやチラシ、パンフレットの配布」が最も多くなっています。



<第4章 調査結果(一般県民)>

■問8 (効果的な広報や体制) × 婚姻状況別・就業状況別・居住地区別

効果的な広報や体制について就業状況別に見ると、正規の職員・従業員、非正規の職員・従業員、自営業主、内職、無職では「24時間いつでも相談できること」が最も多く、役員、家族従事者、主婦では「匿名で相談できること」が最も多く、学生では「メールやチャット、SNSで相談できること」が最も多くなっています。

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	
		調査数	24時間いつでも相談できること	匿名で相談できること	メールやチャット、SNSで相談できること	Twitter、LINE、Instagram、YouTube等のSNS広告で相談窓口を紹介する	相談窓口を周知するためのカードやチラシ、パンフレットを学校で配布する	気持ちに寄り添ってくれること	テレビCM	土日に相談できること	同性に相談できること	同じ境遇の人と会ったり話したりできること	学校出前講座で相談機関を紹介	大型商業施設やカフェ等での出張相談	その他
【表の見方】 比率(%) 網掛け=															
			1位	2位											
全体		1,000	41.9	38.7	30.4	25.2	20.9	20.3	19.3	17.9	16.3	11.1	1.3	0.9	1.7
婚姻状況	未婚(子どもなし)	266	41.0	40.2	35.0	27.1	14.7	21.8	15.8	19.2	14.7	9.0	1.1	2.3	1.9
	未婚(子どもあり)	22	36.4	22.7	27.3	22.7	18.2	22.7	9.1	27.3	13.6	18.2	-	-	-
	既婚(子どもなし)	101	38.6	37.6	33.7	27.7	15.8	9.9	19.8	15.8	18.8	9.9	-	1.0	2.0
	既婚(子どもあり)	455	42.9	41.5	26.8	24.0	22.4	22.0	21.1	18.2	17.1	12.1	1.8	0.2	0.7
	離別(子どもなし)	20	35.0	45.0	50.0	20.0	25.0	20.0	15.0	5.0	20.0	15.0	5.0	-	5.0
	離別(子どもあり)	107	42.1	26.2	31.8	29.9	29.9	17.8	25.2	14.0	14.0	11.2	0.9	0.9	4.7
	死別(子どもなし)	5	20.0	60.0	-	-	-	40.0	-	-	20.0	20.0	-	-	20.0
	死別(子どもあり)	24	62.5	33.3	20.8	8.3	45.8	20.8	12.5	29.2	16.7	8.3	-	-	-
就業状況	会社などに雇用されている方のうち役員	20	30.0	40.0	5.0	25.0	30.0	20.0	10.0	20.0	20.0	10.0	-	5.0	-
	会社などに雇用されている方のうち正規の職員・従業員	365	42.5	36.2	34.0	29.6	17.3	14.5	19.5	23.3	20.0	9.9	1.1	0.5	1.1
	会社などに雇用されている方のうち非正規の職員・従業員	280	43.9	35.0	31.8	26.1	19.6	20.4	21.8	19.3	12.1	12.9	2.5	1.1	2.5
	自営業主	35	48.6	40.0	37.1	22.9	22.9	34.3	11.4	20.0	14.3	2.9	2.9	-	-
	家族従業者	17	35.3	41.2	23.5	23.5	17.6	35.3	29.4	11.8	29.4	17.6	5.9	-	5.9
	内職	2	100.0	-	-	50.0	-	50.0	-	50.0	50.0	-	-	-	-
	学生	15	46.7	46.7	53.3	33.3	6.7	20.0	20.0	13.3	-	-	-	-	6.7
	主婦	162	40.7	52.5	24.1	21.0	25.9	22.2	19.8	9.3	14.2	10.5	-	1.2	-
	無職	104	35.6	34.6	25.0	13.5	29.8	29.8	14.4	8.7	17.3	15.4	-	1.0	3.8
居住地区	高知市	615	41.6	38.2	29.9	25.5	22.8	20.8	21.1	16.4	16.9	10.4	1.3	0.8	1.8
	安芸広域圏	39	35.9	33.3	33.3	33.3	25.6	17.9	15.4	10.3	15.4	12.8	-	-	-
	南国・香美広域圏	129	45.7	37.2	33.3	21.7	16.3	23.3	17.8	17.8	15.5	7.8	1.6	0.8	3.1
	嶺北広域圏	3	33.3	33.3	-	33.3	100.0	-	-	33.3	33.3	-	-	-	-
	仁淀川広域圏	56	46.4	48.2	19.6	26.8	21.4	19.6	14.3	26.8	16.1	17.9	1.8	1.8	-
	高吾北広域圏	16	31.3	37.5	56.3	25.0	25.0	18.8	18.8	18.8	18.8	6.3	-	-	-
	高幡広域圏	40	42.5	32.5	42.5	32.5	15.0	7.5	17.5	22.5	12.5	10.0	2.5	-	-
	幡多広域圏	78	39.7	44.9	28.2	23.1	12.8	20.5	16.7	24.4	17.9	16.7	1.3	1.3	-
	答えたくない	24	41.7	37.5	20.8	12.5	12.5	20.8	12.5	16.7	4.2	16.7	-	4.2	8.3

問9 最後に、様々な悩みを抱える女性への支援について、意見や要望があれば教えてください。

意見や要望について下記にまとめました。

【20 歳代】	
1	DV 等受けていると、行動の制限や携帯を監視(見られる)こともあり電話やチャットが困難な方がいると思うので、家に訪問して相談できる形があるといいと思います。
2	相談した後に、どの様な対応で問題を解決していくのの流れがイメージできれば、より相談しやすいかもしれない。(加害者側にすぐ相談したことが伝わるのではないかなどの不安があって、相談しにくいこともあるかもしれないため。)
3	身近な信頼できる人に相談するのが1番負担が少ない気がします。相談窓口に行くことなくネットなどで匿名で相談できると需要があると思います。
4	女性支援だけでなく、各種相談窓口にも藁にも縋る思いで相談したのに軽視された、バカにされたなどの話はSNSによく書き込まれています。そんな話が出回ると相談を諦める人もいるでしょう。相談者は限界まで追い詰められてやっと相談してくることが多いので、単なるコールセンターで求められる対応だけでは足りないと思います。相談を受ける方は、まず精神的に健康でない方への接し方を習得しなければならないと思います。
5	こういった悩みがあり、どう解決したのかというのが見れる場所があると参考にしやすいです。

【30 歳代】	
1	相談しようと思っても電話が繋がらなかつたりしたので、気軽に相談できる場所があると嬉しいです。
2	子どもに先天性疾患があり手術をした。現在、日常的に支援を受ける必要はなく、ありがたいことだが、周りの(健常の子の)保護者には話じぶらく、ずっとつらかった思い出が胸に残っている。自身の体調も看病や付き添いで崩したままになってしまった。こういった場合はどこに話を聞いてもらえばいいのか、思い付きづらい。
3	高知県、特に郡部は相談出来る場所が少ないと思います。なので、郡部でも気軽に行けて相談出来る場所を作って欲しいです。
4	地域によって得られる支援の量が違うことが気になります。高知市内に拠点があることが多いため、西や東の方は相談したくても遠くて行けない。相談する場所があっても、その地域にはそこしか無いから、予約でいっぱいですぐには対応してくれないなどの声も聴きます。オンラインやSNSなどを使って、遠くでも受けられる支援を増やして欲しいと思います。
5	生活困窮の場合、お金ではなく物の援助、働く場の提供などをしたらどうかと思う。以前、知人が彼氏もいて経済的援助を受けているのに母子の支援を受けており、自分との環境の違いに不公平感を覚えた。よくトイレ内個室に相談窓口のカードなどを貼っているがとても良いと思う。支援が必要な方は精神的に不安定であり自分で判断することの困難さや周囲の目を気にすることがあると思うので、それらを把握した上で相談窓口が周知され誰もが使いやすくなることを願っております。

【40 歳代】	
1	話を聞いてもらえるだけでも、精神的に楽になれるとは思いますが具体的な解決方法を教えてもらえたり後押しをしてもらいたい。
2	もっと相談出来る場所があるなら知らせた方が良いと思います。知らない支援が多い気がする。
3	テレビやラジオでの広報は、視聴する時間帯が合わなければ知ることもできません。ネット検索やsns等で、検索したり閲覧した内容に対してサジェスト広告が出ますよね、そこに相談窓口や相談方法の広告が出れば、相談するきっかけにならないでしょうか。スマホを所有している人は多いですから。既に実施していたらすみません。

<第4章 調査結果(一般県民)>

【40 歳代】	
4	相談窓口は働いている人には行きにくい時間が多いし、予約が必要だと、その予約をとるのがハードルが高くて（心的に）なかなか利用しづらい。
5	悩みがあり、相談をすると、自分の相談内容が居住地の人々が知っていた。そのようなことがあったとすれば、相談した人の心は？自分の友人にあった実際の話です。心からの使命感のない無知で無心な人材は必要ないでしょう。
6	悩みが多様なため、個人では判断できないこともあり、低年齢から教えていく必要があると思います。
7	田舎なので世間が狭くどこにでも知り合いがいることがあり、相談先の担当が知り合いだったら嫌だなと思い敷居が高く躊躇することがあるので、まずは匿名で相談できたり、国の運営の電話やSNS、ホームページなどの県外の窓口で、一次対応してもらえるといいと思う。

【50 歳代】	
1	いろいろな相談窓口があることを知らなかったので、多くの人に知る機会があればいいと思う。
2	電話や面談の相談はできるとして、危険なことが身に近づくと警察への相談になる。警察に話がゆくと、何かあったら連絡くださいとしか聞くことができない。何かあったらの、何かが凶器が出るものであるなら連絡ももはや手遅れだと感じる。色々な機関の連携が必要なときもあるけれど、ひとつのしっかりとした機関からの理解や緊急時一步手前での受け入れが欲しい。
3	統一した支援、援助の継続が大切。担当者が変わる時もきちんと引き継ぎする。
4	追い詰められている時には、相談相手が思い浮かばない場合が多いのではないかと思う。テレビやラジオや店舗に貼られた啓発ポスターなどで、日ごろから相談先があることを誰もが何となく知っているという状態であるのが望ましいと思う。またよくニュースで聞くのは、警察に何度も相談していたにも関わらず命を落とす結果になったという報道なので、そうした際の初動を大切にできるシステムが作られればいいと思う。
5	それぞれの悩みに対応した機関を個別に探すのは大変なので、一つの窓口や電話対応で、必要な専門家に繋げてくれる相談窓口があれば、より円滑で利便性の向上に結びつくと思います。
6	自分が受けたストーカー被害の時は、色々な相談機関が無く警察に相談しましたが、男性警察官には言いづらかったです。同性の方が望ましかったです。
7	渦中のときは、相談したくてもその時間が作れず、具体的にどのように力になってもらえるか、簡潔に知りたかった。女性センターのソールに行くだけで、少し心が安心でき、関連図書をたくさん読んで勉強出来た。民生委員の方には、色々な距離が近くて逆に相談出来ませんでした。

【60 歳以上】	
1	周りの状況が見えず、一人で悩んでいるような錯覚を起こしてしまうので、気軽に話ができる場や相談相手、同じ境遇の仲間の集まり等が、住んでいる地域にもあると良い。
2	私は障害者の親の立場だが、30年くらい前まではまだオープンにできない状態だった。でも、今は、診断方法が確立して診断が付きやすくなった反面、その保護者を支えるところがない。特に障害者が成人した後、相談できる場所がない。性の問題、親亡き後のこと、深刻になってくるがそれが相談できる人がいない。
3	相談の窓口がたくさんあり、どこに相談したらいいかわからない。女性なら1つの窓口にして問題の内容によって紹介してもらいたい。
4	県や自治体が考えている通り、相談しやすい体制を作ることが必要不可欠。さらに相談したが、結局解決につながらなかったというようなことのないよう、相談者が納得できる体制を模索していく必要があると感じている。
5	相談できることを知らない人も多いと思うので、広く知らせる活動は必須だと思います。

問3 同世代の知人や友人が抱えている悩みとして、見たり聞いたり相談されたりしたことがあるものはありますか。(○はいくつでも)

- 1 家族や同居人等からの身体的暴力（平手で打たれる、髪を引っ張られる、引きずりまわされるなど）
- 2 家族や同居人等からの心理的暴力（大声で怒鳴られる、人前でバカにされたり命令するような口調でものを言われる、大切にしているものを捨てられるなど）
- 3 家族や同居人等からの性的暴力
- 4 デートDV（恋人間の暴力。）
- 5 他人からの性暴力・性犯罪被害（痴漢、盗撮、同意のない性交など、直接的な被害）
- 6 他人からの性暴力・性犯罪被害（SNSを介して性的な画像を送信させられたなど、インターネットを通じた被害）
- 7 望まない妊娠（望まない妊娠をしたかもしれない不安などを含む）
- 8 ストーカー被害
- 9 自身の障害や疾病
- 10 家族の障害や疾病
- 11 経済的な困窮（生理用品など生活や学校に必要なものを買えないことがある、生活費を稼ぐためのアルバイトによって学業に支障があるなど）
- 12 特にない
- 13 答えたくない
- 14 その他（)

問4 以下の相談機関（支援機関）のうち、どのような相談を受け付けているか知っているものはありますか。(○はいくつでも)

- 1 高知県女性相談支援センター（DV、デートDV、家庭環境の破綻、ストーカー被害、人身取引被害など）
- 2 こうち男女共同参画センター「ソール」（女性のための一般相談、こころの相談など）
- 3 高知県思春期相談センター P R I N K（思春期の悩み、性に関する悩みなど）
- 4 性暴力被害者サポートセンターこうち（性犯罪・性暴力被害など）
- 5 性犯罪・DV・ストーカー等相談電話（レディースダイヤル110番）
（性犯罪被害、DV、ストーカー被害など）
- 6 性暴力に関するSNS相談「キュアタイム」
- 7 高知あいあいネット（DV、生活困窮、障害、母子世帯の自立支援など）
- 8 高知県中央児童相談所（18歳未満の児童への虐待）
- 9 にんしんSOS高知みそのらんぷ（望まない妊娠）
- 10 DV相談プラス（DVの24時間相談、メール相談、チャット相談）
- 11 各市町村にある社会福祉協議会（生活困窮、障害など）
- 12 どれも知らない

問5 あなたや周りの人が抱える悩みについて、誰に（どこに）相談しましたか。(○はいくつでも)

- 1 家族
- 2 友人・知人
- 3 SNS等を通じて知り合った人や不特定多数の人 →副問1・3へ
- 4 相談機関 →副問2・3へ
- 5 その他（)
- 6 どこにも相談したことがない →副問4へ
- 7 相談できる相手がいない

※学校などで知り合った友人にSNSを通じて相談をした場合は「2 友人・知人」を選択してください。

問5で「3 SNS等を通じて知り合った人や不特定多数の人」と答えた方にお尋ねします。

副問1 相談に利用したSNS等は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 Twitter 2 Instagram 3 TikTok 4 掲示板
5 その他 ()

問5で「4 相談機関」に相談したことがあると答えた方にお尋ねします。

副問2 相談した機関はどこですか。(○はいくつでも)

- 1 高知県女性相談支援センター (DV、デートDV、家庭環境の破綻、ストーカー被害、人身取引被害など)
2 こうち男女共同参画センター「ソレ」 (女性のための一般相談、こころの相談など)
3 高知県思春期相談センター P R I N K (思春期の悩み、性に関する悩みなど)
4 性暴力被害者サポートセンターこうち (性犯罪・性暴力被害など)
5 性犯罪・DV・ストーカー等相談電話 (レディースダイヤル110番)
(性犯罪被害、DV、ストーカー被害など)
6 性暴力に関するSNS相談「キュアタイム」
7 高知あいあいネット (DV、生活困窮、障害、母子世帯の自立支援など)
8 高知県中央児童相談所 (18歳未満の児童への虐待)
9 にんしんSOS高知みそのらんぷ (望まない妊娠)
10 DV相談プラス (DVの24時間相談、メール相談、チャット相談)
11 各市町村にある社会福祉協議会 (生活困窮等)
12 市町村役場
13 警察 (性犯罪被害相談電話を含む)
14 上記以外 (具体名は任意記入)

問5で3または4と答えた方にお尋ねします。

副問3 相談した結果、どう感じましたか。(○はひとつだけ)

相談機関名等を記入し、それぞれ回答してください。(SNS等の場合は「SNS」と記載)

(相談機関名等:)	
1 満足できる対応だった 2 まあまあ満足できる対応だった 3 どちらでもない 4 やや満足できなかった 5 不満	具体的な内容 (左記で 1、2、4、5 を選んだ方)
(相談機関名等:)	
1 満足できる対応だった 2 まあまあ満足できる対応だった 3 どちらでもない 4 やや満足できなかった 5 不満	具体的な内容 (左記で 1、2、4、5 を選んだ方)
(相談機関名等:)	
1 満足できる対応だった 2 まあまあ満足できる対応だった 3 どちらでもない 4 やや満足できなかった 5 不満	具体的な内容 (左記で 1、2、4、5 を選んだ方)

問5で「6 どこにも相談したことがない」と答えた方にお尋ねします。

副問4 相談しなかった、できなかった理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 相談するほどのことでないと思った
- 2 相談先を知らなかった
- 3 相談する勇気が出なかった
- 4 相談した後の影響が不安だった(周りに知られる、被害がより大きくなるなど)
- 5 相談しても思うような対応が期待できないと思った
- 6 相談するよりも早く忘れたと思った
- 7 自分にも悪いところがあったと思った
- 8 相談するようなことがなかった(見たり聞いたりしなかった)
- 9 その他 ()

問6 相談機関に相談しやすい状況にするためには、どのような広報や体制が効果的だと思いますか。(○は最も有効と思うものから3つまで)

- 1 相談窓口を周知するためのカードやチラシ、パンフレットを学校で配布する
- 2 Twitter、LINE、Instagram、YouTube等のSNS広告で相談窓口を紹介する
- 3 学校の授業で相談窓口を紹介する
- 4 テレビCMで相談窓口を紹介する
- 5 メールやチャット、SNSで相談できること
- 6 同性に相談できること
- 7 24時間いつでも相談できること
- 8 土日に相談できること
- 9 夜間(22時以降)に相談できること
- 10 匿名で相談できること
- 11 若年層の気持ちに寄り添ってくれること
- 12 大型商業施設やカフェ等で相談できること
- 13 同じ境遇の人と会ったり話したりできること
- 14 その他 ()

問7 最後に、様々な悩みを抱える女性への支援について、意見や要望があれば教えてください。

アンケートは以上です。ご協力いただき、ありがとうございました。

2. 大学生アンケート調査票

Q1	あなたがこれまでに抱えたことのある悩みはありますか。(いくつかも選択可)
1	家族や同居人等からの身体的暴力(平手で打たれる、髪を引っ張られる、引きずりまわされるなど)
2	家族や同居人等からの心理的暴力(大声で怒鳴られる、人前でバカにされたり命令するような口調でものを言われる、大切にしているものを捨てられるなど)
3	家族や同居人等からの性的暴力
4	デートDV(恋人間の暴力。下の枠内も参考にしてください。)
5	他人からの性暴力・性犯罪被害(痴漢、盗撮、同意のない性交など、直接的な被害)
6	他人からの性暴力・性犯罪被害(SNSを介して性的な画像を送信させられたなど、インターネットを通じた被害)
7	望まない妊娠(望まない妊娠をしたかもしれない不安などを含む)
8	ストーカー被害
9	自身の障害や疾病
10	家族の障害や疾病
11	経済的な困窮(生理用品など生活や学校に必要なものを買えないことがある、生活費を稼ぐためのアルバイトによって学業に支障があるなど)
12	特にない
13	答えたくない
14	その他[FA]
Q2	同世代の知人や友人が抱えている悩みとして、見たり聞いたり相談されたりしたことがあるものはありますか。(いくつかも選択可)
1	家族や同居人等からの身体的暴力(平手で打たれる、髪を引っ張られる、引きずりまわされるなど)
2	家族や同居人等からの心理的暴力(大声で怒鳴られる、人前でバカにされたり命令するような口調でものを言われる、大切にしているものを捨てられるなど)
3	家族や同居人等からの性的暴力
4	デートDV(恋人間の暴力。下の枠内も参考にしてください。)
5	他人からの性暴力・性犯罪被害(痴漢、盗撮、同意のない性交など、直接的な被害)
6	他人からの性暴力・性犯罪被害(SNSを介して性的な画像を送信させられたなど、インターネットを通じた被害)
7	望まない妊娠(望まない妊娠をしたかもしれない不安などを含む)
8	ストーカー被害
9	自身の障害や疾病
10	家族の障害や疾病
11	経済的な困窮(生理用品など生活や学校に必要なものを買えないことがある、生活費を稼ぐためのアルバイトによって学業に支障があるなど)
12	特にない
13	答えたくない
14	その他[FA]
Q3	以下の相談機関のうち、どのような相談を受け付けているか知っているものはありますか。(いくつかも選択可)
1	高知県女性相談支援センター(DV、デートDV、家庭関係の破綻、ストーカー被害、人身取引被害など)
2	こころ男女共同参画センター「ソレ」(女性のための一般相談、こころの相談など)
3	高知県思春期相談センターP R I N K(思春期の悩み、性に関する悩みなど)
4	性暴力被害者サポートセンターこうち(性犯罪・性暴力被害など)
5	性犯罪・DV・ストーカー等相談電話(レディースダイヤル110番)(性犯罪被害、DV、ストーカー被害など)
6	性暴力に関するSNS相談「キュアタイム」(性暴力被害)
7	高知あいあいネット(DV、生活困窮、障害、母子世帯の自立支援など)
8	児童相談所(18歳未満の児童への虐待)
9	にんしんSOS高知みそのらんぶ(望まない妊娠)
10	DV相談プラス(DVの24時間相談、メール相談、チャット相談)
11	各市町村にある社会福祉協議会(生活困窮、障害など)
12	どれも知らない
Q4	あなたや周りの人が抱える悩みについて、誰に(どこに)相談しましたか。(いくつかも選択可)
1	家族
2	友人・知人
3	SNS等を通じて知り合った人や不特定多数の人
4	相談機関
5	その他[FA]
6	どこにも相談したことがない
7	相談できる相手がいない
	※学校や職場等で知り合った友人にSNSを通じて相談をした場合は「2 友人・知人」を選択してください。

<資料 調査票>

	Q4で「SNS等を通じて知り合った人や不特定多数の人」と答えた方にお尋ねします。
Q5	相談に利用したSNS等は何ですか。(いくつでも選択可)
	1 Twitter
	2 Instagram
	3 TikTok
	4 掲示板
	5 その他[FA]
	Q4で「相談機関」に相談したことがあると答えた方にお尋ねします。
Q6	相談した機関はどこですか。(いくつでも選択可)
	1 高知県女性相談支援センター (DV、デートDV、家庭環境の破綻、ストーカー被害、人身取引被害など)
	2 こうち男女共同参画センター「ソーレ」 (女性のための一般相談、こころの相談など)
	3 高知県思春期相談センター P R I N K (思春期の悩み、性に関する悩みなど)
	4 性暴力被害者サポートセンターこうち (性犯罪・性暴力被害など)
	5 性犯罪・DV・ストーカー等相談電話 (レディースダイヤル110番) (性犯罪被害、DV、ストーカー被害など)
	6 性暴力に関するSNS相談「キュアタイム」
	7 高知あいあいネット (DV、生活困窮、障害、母子世帯の自立支援など)
	8 児童相談所 (18歳未満の児童への虐待)
	9 にんしんSOS高知みそのらんぶ (望まない妊娠)
	10 DV相談プラス (DVの24時間相談、メール相談、チャット相談)
	11 各市町村にある社会福祉協議会 (生活困窮、障害など)
	12 市町村役場
	13 法テラス、弁護士、司法書士
	14 警察 (性犯罪被害相談電話を含む)
	15 上記以外[FA]
	Q4で「SNS等を通じて知り合った人や不特定多数の人」又は「相談機関」と答えた方にお尋ねします。
Q7	相談した結果、どう感じましたか。(それぞれ1つだけ選択可)
	【質問アイテム】
	1 Twitter
	2 Instagram
	3 TikTok
	4 掲示板
	5 その他
	6 高知県女性相談支援センター
	7 こうち男女共同参画センター「ソーレ」
	8 高知県思春期相談センター P R I N K
	9 性暴力被害者サポートセンターこうち
	10 性犯罪・DV・ストーカー等相談電話 (レディースダイヤル110番)
	11 性暴力に関するSNS相談「キュアタイム」
	12 高知あいあいネット
	13 児童相談所
	14 にんしんSOS高知みそのらんぶ
	15 DV相談プラス
	16 各市町村にある社会福祉協議会
	17 市町村役場
	18 法テラス、弁護士、司法書士
	19 警察
	20 上記以外
	【選択肢】
	1 満足できる対応だった
	2 まあまあ満足できる対応だった
	3 どちらでもない
	4 やや満足できなかった
	5 不満

<資料 調査票>

Q7	「満足できる対応だった」または「まあまあ満足できる対応だった」と回答された方にお尋ねします。 満足できる対応の具体的な内容について、御回答ください。
	[FA]
Q9	Q7で「やや満足できなかった」または「不満」と回答された方にお尋ねします。 満足できなかった対応の具体的な内容について、御回答ください。
	[FA]
Q10	Q4で「どこにも相談したことがない」と答えた方にお尋ねします。 相談しなかった、できなかった理由は何ですか。(いくつでも選択可)
	1 相談するほどのことでないと思った
	2 相談先を知らなかった
	3 相談する勇気が出なかった
	4 相談した後の影響が不安だった(周りに知られる、被害がより大きくなるなど)
	5 相談しても思うような対応が期待できないと思った
	6 相談するよりも早く忘れたいと思った
	7 自分にも悪いところがあると思った
	8 相談するようなことがなかった(見たり聞いたりしなかった)
	9 その他[FA]
Q11	相談機関に相談しやすい状況にするためには、どのような広報や体制が効果的だと思いますか。(最も有効と思うものから3つまで選択可)
	1 相談窓口周知カードやチラシ、パンフレットの配布
	2 Twitter、LINE、Instagram、YouTube等のSNSでの広告
	3 テレビCM
	4 メールやチャット、SNSで相談できること
	5 同性に相談できること
	6 24時間いつでも相談できること
	7 土日に相談できること
	8 匿名で相談できること
	9 気持ちに寄り添ってくれること
	10 学校出前講座で相談機関を紹介
	11 大型商業施設やカフェ等での出張相談
	12 同じ境遇の人と会ったり話したりできること
	13 その他[FA]
Q12	最後に、様々な悩みを抱える女性への支援について、意見や要望があれば教えてください。
	[FA]

アンケート終了

3. 一般県民アンケート調査票

Q1	あなたの婚姻等の状況はどれですか。(1つだけ選択可)
	1 未婚(子どもなし)
	2 未婚(子どもあり)
	3 既婚(子どもなし)
	4 既婚(子どもあり)
	5 離別(子どもなし)
	6 離別(子どもあり)
	7 死別(子どもなし)
	8 死別(子どもあり)
Q2	あなたの現在の就業上の地位(雇用形態など)はどれですか。(1つだけ選択可) * 兼業の方は、主たる収入を得ている仕事についてお答えください。
	1 会社などの役員
	2 会社などに雇用されている方のうち正規の職員・従業員
	3 会社などに雇用されている方のうち非正規の職員・従業員(パート・アルバイト・契約社員・派遣社員など)
	4 自営業主
	5 家族従業者
	6 内職
	7 学生
	8 主婦
	9 無職
Q3	あなたの居住地域(住んでいる地域)はどこですか。
	1 高知市
	2 安芸広域圏(室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、芸西村)
	3 南国・香美広域圏(南国市、香南市、香美市)
	4 嶺北広域圏(本山町、大豊町、土佐町、大川村)
	5 仁淀川広域圏(土佐市、いの町、日高村)
	6 高吾北広域圏(佐川町、越知町、仁淀川町)
	7 高幡広域圏(須崎市、中土佐町、梶原町、津野町、四万十町)
	8 幡多広域圏(宿毛市、土佐清水市、四万十市、大月町、三原村、黒潮町)
	9 答えたくない
	10 高知県外
Q4	あなたがこれまでに抱えたことのある悩みはありますか。(いくつでも選択可)
	1 配偶者やパートナー、元配偶者からの身体的暴力(平手で打たれる、髪を引っ張られる、引きずりまわされるなど)
	2 配偶者やパートナー、元配偶者からの心理的暴力(大声で怒鳴られる、人前でバカにされたり命令するような口調でものを言われる、大切にしているものを捨てられるなど)
	3 配偶者やパートナー、元配偶者からの性的暴力
	4 配偶者やパートナーからの経済的暴力(生活費を渡してもらえない、働いて収入を得ることを認めってもらえないなど)
	5 デートDV(恋人間の暴力。勝手にスマホのデータを消去する、交友関係を制限する、別れたら死ぬと言う、避妊に協力しないなど)
	6 配偶者以外の家族、同居人からの暴力(身体的、心理的、性的、経済的暴力を含む)
	7 家族以外の他人からの性暴力・性犯罪被害(痴漢、盗撮、同意のない性交など、直接的な被害)
	8 家族以外の他人からの性暴力・性犯罪被害(SNSを介して性的な画像を送信させられたなど、インターネットを通じた被害)
	9 望まない妊娠(望まない妊娠をしたかもしれない不安などを含む)
	10 ストーカー被害
	11 住居問題(住む場所がない、失う可能性があるなど)
	12 離婚問題・家庭不和
	13 配偶者やパートナーのアルコール依存、ギャンブル依存、借金問題
	14 自身の障害や疾病
	15 家族の障害や疾病
	16 経済的な困窮(食品や生理用品など生活に必要なものを買えないことがあるなど)
	17 特にない
	18 答えたくない
	19 その他[FA]

<資料 調査票>

Q5	知人や友人が抱えている悩みとして、見たり聞いたり相談されたりしたことがあるものはありますか。(いくつでも選択可)
1	配偶者やパートナー、元配偶者からの身体的暴力(平手で打たれる、髪を引っ張られる、引きづりまわされるなど)
2	配偶者やパートナー、元配偶者からの心理的暴力(大声で怒鳴られる、人前でバカにされたり命令するような口調でものを言われる、大切にしているものを捨てられるなど)
3	配偶者やパートナー、元配偶者からの性的暴力
4	配偶者やパートナーからの経済的暴力(生活費を渡してもらえない、働いて収入を得ることを認めてもらえないなど)
5	デートDV(恋人間の暴力。下の枠内も参考にしてください。)
6	配偶者以外の家族からの暴力(身体的、心理的、性的、経済的暴力を含む)
7	家族以外の他人からの性暴力・性犯罪被害(痴漢、盗撮、同意のない性交など、直接的な被害)
8	家族以外の他人からの性暴力・性犯罪被害(SNSを介して性的な画像を送信させられたなど、インターネットを通じた被害)
9	望まない妊娠(望まない妊娠をしたかもしれない不安などを含む)
10	ストーカー被害
11	住居問題(住む場所がない、失う可能性があるなど)
12	離婚問題・家庭不和
13	配偶者やパートナーのアルコール依存、ギャンブル依存、借金問題
14	自身の障害や疾病
15	家族の障害や疾病
16	経済的な困窮(食品や生理用品など生活に必要なものを買えないことがあるなど)
17	特にない
18	答えたくない
19	その他[FA]
Q6	以下の相談機関のうち、どのような相談を受け付けているか知っているものはありますか。(いくつでも選択可)
1	高知県女性相談支援センター(DV、デートDV、家庭関係の破綻、ストーカー被害、人身取引被害など)
2	こうち男女共同参画センター「ソレ」(女性のための一般相談、こころの相談など)
3	高知県思春期相談センターP R I N K(思春期の悩み、性に関する悩みなど)
4	性暴力被害者サポートセンターこうち(性犯罪・性暴力被害など)
5	性犯罪・DV・ストーカー等相談電話(レディースダイヤル110番)(性犯罪被害、DV、ストーカー被害など)
6	性暴力に関するSNS相談「キュアタイム」(性暴力被害)
7	高知あいあいネット(DV、生活困窮、障害、母子世帯の自立支援など)
8	児童相談所(18歳未満の児童への虐待)
9	にんしんSOS高知みそのらんぶ(望まない妊娠)
10	DV相談プラス(DVの24時間相談、メール相談、チャット相談)
11	各市町村にある社会福祉協議会(生活困窮、障害など)
12	どれも知らない
Q7	あなたや周りの人が抱える悩みについて、誰に(どこに)相談しましたか。(いくつでも選択可)
1	家族
2	友人・知人
3	SNS等を通じて知り合った人や不特定多数の人
4	相談機関
5	その他[FA]
6	どこにも相談したことがない
7	相談できる相手がない
	※学校や職場等で知り合った友人にSNSを通じて相談をした場合は「2 友人・知人」を選択してください。
	Q7で「SNS等を通じて知り合った人や不特定多数の人」と答えた方にお尋ねします。
Q8	相談に利用したSNS等は何ですか。(いくつでも選択可)
1	Twitter
2	Instagram
3	TikTok
4	掲示板
5	その他[FA]

<資料 調査票>

	Q7で「相談機関」に相談したことがあると答えた方にお尋ねします。
Q9	相談した機関はどこですか。(いくつでも選択可)
	1 高知県女性相談支援センター (DV、デートDV、家庭環境の破綻、ストーカー被害、人身取引被害など)
	2 こうち男女共同参画センター「ソレ」 (女性のための一般相談、こころの相談など)
	3 高知県思春期相談センター P R I N K (思春期の悩み、性に関する悩みなど)
	4 性暴力被害者サポートセンターこうち (性犯罪・性暴力被害など)
	5 性犯罪・DV・ストーカー等相談電話 (レディースダイヤル110番) (性犯罪被害、DV、ストーカー被害など)
	6 性暴力に関するSNS相談「キュアタイム」
	7 高知あいあいネット (DV、生活困窮、障害、母子世帯の自立支援など)
	8 児童相談所 (18歳未満の児童への虐待)
	9 にんしんSOS高知みそのらんぷ (望まない妊娠)
	10 DV相談プラス (DVの24時間相談、メール相談、チャット相談)
	11 各市町村にある社会福祉協議会 (生活困窮、障害など)
	12 市町村役場
	13 法テラス、弁護士、司法書士
	14 警察 (性犯罪被害相談電話を含む)
	15 上記以外 [FA]
	Q7で「SNS等を通じて知り合った人や不特定多数の人」又は「相談機関」と答えた方にお尋ねします。
Q10	相談した結果、どう感じましたか。(それぞれ1つだけ選択可)
	【質問アイテム】
	1 Twitter
	2 Instagram
	3 TikTok
	4 掲示板
	5 その他
	6 高知県女性相談支援センター
	7 こうち男女共同参画センター「ソレ」
	8 高知県思春期相談センター P R I N K
	9 性暴力被害者サポートセンターこうち
	10 性犯罪・DV・ストーカー等相談電話 (レディースダイヤル110番)
	11 性暴力に関するSNS相談「キュアタイム」
	12 高知あいあいネット
	13 児童相談所
	14 にんしんSOS高知みそのらんぷ
	15 DV相談プラス
	16 各市町村にある社会福祉協議会
	17 市町村役場
	18 法テラス、弁護士、司法書士
	19 警察
	20 上記以外
	【選択肢】
	1 満足できる対応だった
	2 まあまあ満足できる対応だった
	3 どちらでもない
	4 やや満足できなかった
	5 不満
	Q10で「満足できる対応だった」または「まあまあ満足できる対応だった」と回答された方にお尋ねします。
Q11	満足できる対応の具体的な内容について、御回答ください。
	[FA]
	Q10で「やや満足できなかった」または「不満」と回答された方にお尋ねします。
Q12	満足できなかった対応の具体的な内容について、御回答ください。
	[FA]

<資料 調査票>

	Q7で「どこにも相談したことがない」と答えた方にお尋ねします。
Q13	相談しなかった、できなかった理由は何ですか。(いくつでも選択可)
	1 相談するほどのことでないと思った
	2 相談先を知らなかった
	3 相談する勇気が出なかった
	4 相談した後の影響が不安だった(周りに知られる、被害がより大きくなるなど)
	5 相談しても思うような対応が期待できないと思った
	6 相談するよりも早く忘れたいと思った
	7 自分にも悪いところがあると思った
	8 相談するようなことがなかった(見たり聞いたりしなかった)
	9 その他[FA]
Q14	相談機関に相談しやすい状況にするためには、どのような広報や体制が効果的だと思いますか。(最も有効と思うものから3つまで選択可)
	1 相談窓口周知カードやチラシ、パンフレットの配布
	2 Twitter、LINE、Instagram、YouTube等のSNSでの広告
	3 テレビCM
	4 メールやチャット、SNSで相談できること
	5 同性に相談できること
	6 24時間いつでも相談できること
	7 土日に相談できること
	8 匿名で相談できること
	9 気持ちに寄り添ってくれること
	10 学校出前講座で相談機関を紹介
	11 大型商業施設やカフェ等での出張相談
	12 同じ境遇の人と会ったり話したりできること
	13 その他[FA]
Q15	最後に、様々な悩みを抱える女性への支援について、意見や要望があれば教えてください。
	[FA]
アンケート終了	

令和5年度 高知県困難な問題を抱える女性への
支援に関するニーズ調査報告書
令和5年8月 発行

[編集・発行] 高知県子ども・福祉政策部 人権・男女共同参画課
〒780-8570 高知市丸ノ内1-2-20
TEL 088-823-9651
FAX 088-823-9807
